

経001	項目名	ANAとの連携による地域活性化推進事業費																			
主要な施策	ANAとの連携による地域活性化推進事業費	ページ	23																		
年度	H24	所 属 名 経済観光部 経済・雇用戦略課																			
会計名	事業の概要																				
一般会計	【問合せ先】地域経済係 0857-20-3249 【9次総の施策体系】5103 【予算計上の経過】予算事業別概要目次 当初予算・P107(経001) 【事業の概要】 鳥取市の新たな魅力を向上する取り組みを推進するため、鳥取市と株式会社ANA総合研究所において、地域協働事業の実施に関する協定を平成23年4月に締結し、鳥取空港の就航会社である全日本空輸株式会社(ANA)との連携を強化し、ANAの有する世界的なネットワーク及び鳥取空港を最大限活用した地域活性化の取組みを行った。 【事業の成果】 株式会社ANA総合研究所より職員の派遣を受け、鳥取市の新たな魅力を向上する取り組みを推進するとともに、民間アドバイザーを含めたプロジェクトチームを主に多くの方と意見交換・協議しながら各種施策を検討・実施した。 ・鳥取市地域協働事業提案(4月12事業提案) ・早稲田大学とのワークショップによる地域活性化研究(5月～9月) 鳥取市の地域活性化に関する調査研究報告 ・中山間地域二次交通検討 ・鳥取空港ビル活用策について検討 ・早稲田大学生の鳥取市でのワークショップの実施、地域活性化策について提言 ・着地型ツアー、インバウンドツアーの検討 ・東京ゲートシティ大崎で鳥取市マルシェ開催(8月) ・東京の販売店、レストラン等とのマッチング 【今後の課題・方向性】 空港を核とした鳥取ブランド、広域観光の推進が必要であり、今後はそれらの事業推進する団体及び人材の育成が必要である。 当該事業によって得た成果をもとに、新たな事業展開を検討する。																				
款	総務費	<table border="1"> <tr> <td>分担金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>負担金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>使用料</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>手数料</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>財産収入</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>寄付金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>繰入金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>贈収金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> </tr> </table>		分担金	0	負担金	0	使用料	0	手数料	0	財産収入	0	寄付金	0	繰入金	0	贈収金	0	その他	0
分担金	0																				
負担金	0																				
使用料	0																				
手数料	0																				
財産収入	0																				
寄付金	0																				
繰入金	0																				
贈収金	0																				
その他	0																				
項	総務管理費																				
目	企画費																				
(単位:千円)																					
当初予算額	6,531																				
補正予算額	0																				
予算流・充用額	0																				
最終予算額	6,531																				
本年度決算額	6,300																				
区分	決算額	【参考】																			
財源内訳	国・県支出金	0	評価結果 地域活性化のための調査研究段階から、実施段階に入ったところであり、より効果が期待できる事業を絞り実施する必要がある。																		
	地方債	0																			
	その他	0																			
	一般財源	6,300																			
	計	6,300																			
前年度決算額	6,340																				

経002	項目名	シルバー人材センター運営補助金																			
主要な施策	シルバー人材センター助成費等	ページ	28																		
年度	H24	所 属 名 経済観光部 経済・雇用戦略課																			
会計名	事業の概要																				
一般会計	【問合せ先】雇用政策係 0857-20-3134 【9次総の施策体系】5104 【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P107(経002) 【事業の概要】 高齢者の意向に応じた臨時的・短期的な就業機会の提供を行う鳥取市シルバー人材センターの経営の安定を図り、就業による高齢者の積極的な社会参加を促進し、高齢者の生きがいを創出するため、鳥取市シルバー人材センターの運営に要する経費について補助を行う。 【事業の成果】 平成21年度16,100千円 平成22年度14,100千円 平成23年度11,400千円 平成24年度11,100千円 【今後の課題・方向性】 国の補助金がH22年度から2年間に亘って縮減され、事務改善・経営努力を重ねてもセンター運営が極めて厳しいものとなっている。引き続き現状どおりの支援を継続する。																				
款	民生費	<table border="1"> <tr> <td>分担金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>負担金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>使用料</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>手数料</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>財産収入</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>寄付金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>繰入金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>贈収金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> </tr> </table>		分担金	0	負担金	0	使用料	0	手数料	0	財産収入	0	寄付金	0	繰入金	0	贈収金	0	その他	0
分担金	0																				
負担金	0																				
使用料	0																				
手数料	0																				
財産収入	0																				
寄付金	0																				
繰入金	0																				
贈収金	0																				
その他	0																				
項	社会福祉費																				
目	老人福祉費																				
(単位:千円)																					
当初予算額	11,180																				
補正予算額	0																				
予算流・充用額	0																				
最終予算額	11,180																				
本年度決算額	11,180																				
区分	決算額	【参考】																			
財源内訳	国・県支出金	0	評価結果 センターの運営経費の大半は、発注者が支払う配分金(会員労賃)に上乗せして請求する10%の事務費と、国及び鳥取市からの補助金で成り立っているが、行政刷新会議の事業仕分けにより国の補助金がH22年度から2年間に亘って縮減され、事務改善・経営努力を重ねてもセンター運営が極めて厳しい現状であり、引き続き現状どおりの支援をしていきたい。																		
	地方債	0																			
	その他	0																			
	一般財源	11,180																			
	計	11,180																			
前年度決算額	11,400																				

経003	項目名	食育アドバイザー派遣事業費
------	-----	---------------

主要な施策	地産地消推進事業費	ページ	34
-------	-----------	-----	----

所 属 名	経済観光部 経済・雇用戦略課
-------	-------------------

年度	H24
----	-----

### 事業の概要

会計名	一般会計
款	農林水産業費
項	農業費
目	農業振興費

(単位:千円)	
当初予算額	315
補正予算額	30
予算流・充用額	10

最終予算額	355	其他財源の内訳	
本年度決算額	350	分担金	0
		負担金	0
		使用料	0
		手数料	0
		財産収入	0
		寄付金	0
		繰入金	0
		贈収	0
		その他	0

【問合せ先】地域経済係 0857-20-3249

【9次総の施策体系】5101

【予算計上の経過】  
予算事業別概要目次  
当初予算・P108(経004)

【事業の概要】  
優れた技術を持つ農林水産業者、農産物加工・地域の食材を使った料理の普及に取り組んでいる人々を「食育アドバイザー」として選定し、小・中学校や地域公民館が開催する料理教室など食育に関する研修会に講師として派遣し、食と農林水産業への理解を深める。  
食育アドバイザー謝礼：派遣1回当たり 講演10千円/人、  
農林水産物加工・料理講習5千円/人

【事業の成果】  
平成22年度 登録人数 31人 派遣回数 51件 参加者数 840人  
平成23年度 登録人数 30人 派遣回数 57件 参加人数 1102人  
平成24年度 登録人数 31人 派遣回数 64件 参加人数 1773人

【今後の課題・方向性】  
派遣回数、参加人数ともに増加傾向にあり、地元産食材の良さや伝統料理の伝承普及に図れているので継続する必要がある。

(参考)	前年度決算額	329
------	--------	-----

評価結果	利用者数の増や保護者の活用も増加しており、食育へも繋がっていると思われるので継続する必要がある。
------	--

経004	項目名	地産地消推進の店認証事業費
------	-----	---------------

主要な施策	地産地消推進事業費	ページ	34
-------	-----------	-----	----

所 属 名	経済観光部 経済・雇用戦略課
-------	-------------------

年度	H24
----	-----

### 事業の概要

会計名	一般会計
款	農林水産業費
項	農業費
目	農業振興費

(単位:千円)	
当初予算額	169
補正予算額	0
予算流・充用額	0

最終予算額	169	其他財源の内訳	
本年度決算額	113	分担金	0
		負担金	0
		使用料	0
		手数料	0
		財産収入	0
		寄付金	0
		繰入金	0
		贈収	113
		その他	0

【問合せ先】地域経済係 0857-20-3249

【9次総の施策体系】5101

【予算計上の経過】  
予算事業別概要目次  
当初予算・P109(経005)

【事業の概要】  
地元の農林水産物を食材として使用している市内の飲食店や宿泊施設を「地産地消の店」として認定し、認定証の交付やホームページ等への掲載およびガイドマップ作成。

【事業の実績】  
平成22年度認定店数 89店  
平成23年度認定店数 97店  
平成24年度認定店数 87店

【今後の課題・方向性】  
鳥取市地産地消行動指針(第4期推進期間(平成24~26年度))に基づき、地産地消の推進を図るため、引き続き事業を実施する。

(参考)	前年度決算額	0
------	--------	---

評価結果	申請に対する認定のみに終わらず、継続的な地元食材の活用にも努めているのか検証する必要がある。
------	--

経005	項目名	中小企業勤労者福祉サービスセンター運営補助金		
主要な施策	中小企業勤労者福祉サービスセンター事業費	ページ	37	所 属 名
年度	H24	経済観光部 経済・雇用戦略課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】雇用政策係 0857-20-3134			
款 商工費	【9次総の施策体系】5104			
項 商工費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P109(経006)			
目 商工業振興費	【事業の概要】 中小企業勤労者の福祉の向上を図ることを目的として、事業主と勤労者が一体となつて、相互扶助を基本理念に充実した福利厚生制度を確立し、中小企業の振興及び地域社会の活性化に寄与するため、中小企業福祉事業費(管理運営費及び事業費)の補助を行う。			
(単位:千円)	【事業の成果】 平成21年度 21,400千円(国補助1/2) 平成22年度 21,400千円( ) 平成23年度 10,700千円 ※平成23年度より国庫補助金廃止 平成24年度 10,700千円			
当初予算額	10,700	【今後の課題・方向性】 中小企業の振興及び地域社会の活性化を促進するため、引き続き中小企業福祉事業費(管理運営費及び事業費)に対する補助を行っていくとともに、運営改善・事業の効率化・自主財源確保について働きかけていく。		
補正予算額	0			
予算流・充用額	0			
最終予算額	10,700	【参考】		
本年度決算額	10,700	評価結果 運営改善・事業の効率化・自主財源確保の働きかけを進めつつ、引き続き中小企業勤労者福祉サービスセンターの事業支援を必要に応じて対応する。		
区分	決算額			
財源内訳	国・県支出金	0		
	地方債	0		
	その他	0		
	一般財源	10,700		
	計	10,700		
前年度決算額	10,700			

経006	項目名	制度融資資金		
主要な施策	中小企業金融対策費	ページ	37	所 属 名
年度	H24	経済観光部 経済・雇用戦略課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】商業振興係 0857-20-3222			
款 商工費	【9次総の施策体系】5102			
項 商工費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P110(経007)、6月補正予算・P8(経001)			
目 商工業振興費	【事業の概要】 本市の中小企業者に対し、小口融資等の一般融資のほか借換えや新規事業等目的に合せた融資制度を設け、経営の安定を図るため、貸付実行した金融機関に対し、協調割合に応じた市負担分を預託する。			
(単位:千円)	【事業の成果】 市内の中小企業者が経営基盤強化や経営の健全化に必要な資金を円滑に調達することができた。 平成22年度 5,157,718千円 平成23年度 6,145,070千円 平成24年度 6,592,678千円			
当初予算額	5,595,899	【今後の課題・方向性】 本市の中小企業者の経営基盤強化や経営の健全化を図るため、継続とする。		
補正予算額	1,163,831			
予算流・充用額	0			
最終予算額	6,759,730	【参考】		
本年度決算額	6,592,678	評価結果 本市の中小企業者に対して制度融資資金を貸付し、経営の安定化を図るため、継続する必要がある。		
区分	決算額			
財源内訳	国・県支出金	0		
	地方債	0		
	その他	6,592,678		
	一般財源	0		
	計	6,592,678		
前年度決算額	6,145,070			

経007	項目名	各種金融対策利子補助金		
主要な施策	中小企業金融対策費	ページ	37	所 属 名
年度	H24	経済観光部 経済・雇用戦略課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】商業振興係 0857-20-3222			
款 商工費	【9次総の施策体系】5102			
項 商工費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P110（経008）			
目 商工業振興費	【事業の概要】 景気不安や災害発生等の緊急時に起因して業績不振に陥った中小企業又は資金融資を行った金融機関に対し、その利子相当額を補助金として交付するもの。 (1) 中小企業経営安定化資金特別利子補助金（融資利率：1.67%） (2) 中小企業経営安定化資金東日本大震災利子補助金（融資利率：1.66%） (3) 地域経済変動対策資金利子補助金（融資利率：1.43%）			
(単位:千円)	【事業の成果】 中小企業の負担軽減を図り、経営の安定化に資することができた。 平成22年度 8,564千円 平成23年度 6,919千円 平成24年度 7,003千円			
当初予算額	18,371	【今後の課題・方向性】 緊急的・時限的な措置であり、申込期間を終了した。		
補正予算額	△10,670	【事業の成果】 中小企業の負担軽減を図り、経営の安定化に資することができた。 平成22年度 8,564千円 平成23年度 6,919千円 平成24年度 7,003千円		
予算流・充用額	0	【今後の課題・方向性】 緊急的・時限的な措置であり、申込期間を終了した。		
最終予算額	7,701	【事業の成果】 中小企業の負担軽減を図り、経営の安定化に資することができた。 平成22年度 8,564千円 平成23年度 6,919千円 平成24年度 7,003千円		
本年度決算額	7,003	【今後の課題・方向性】 緊急的・時限的な措置であり、申込期間を終了した。		
区分	決算額	【事業の成果】 中小企業の負担軽減を図り、経営の安定化に資することができた。 平成22年度 8,564千円 平成23年度 6,919千円 平成24年度 7,003千円		
財源内訳	国・県支出金 0	【今後の課題・方向性】 緊急的・時限的な措置であり、申込期間を終了した。		
	地方債 0	【事業の成果】 中小企業の負担軽減を図り、経営の安定化に資することができた。 平成22年度 8,564千円 平成23年度 6,919千円 平成24年度 7,003千円		
	その他 0	【今後の課題・方向性】 緊急的・時限的な措置であり、申込期間を終了した。		
	一般財源 7,003	【事業の成果】 中小企業の負担軽減を図り、経営の安定化に資することができた。 平成22年度 8,564千円 平成23年度 6,919千円 平成24年度 7,003千円		
	計 7,003	【今後の課題・方向性】 緊急的・時限的な措置であり、申込期間を終了した。		
(参考)	前年度決算額 6,919	【事業の成果】 中小企業の負担軽減を図り、経営の安定化に資することができた。 平成22年度 8,564千円 平成23年度 6,919千円 平成24年度 7,003千円		
	評価結果	申込期限を終えた時限的な措置として対応する。		

経008	項目名	商店街にぎわい形成促進事業費		
主要な施策	商店街にぎわい形成促進事業費	ページ	37	所 属 名
年度	H24	経済観光部 経済・雇用戦略課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】商業振興係 0857-20-3222			
款 商工費	【9次総の施策体系】4203・5103			
項 商工費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P111（経009）、9月補正予算・P17（経001）			
目 商工業振興費	【事業の概要】 商店街の空き店舗対策や賑わいの創出、環境整備を図る活動を推進することにより、中心市街地の商業活性化を図る。 (1) 空き店舗対策事業 中心市街地内の空き店舗を商業、または非商業施設として活用する事業に要する経費の一部を補助する。 (2) 活動支援事業 地域の文化、人材、資源を活かした商店街づくり事業や、販売促進、調査、その他商業振興につながるソフト事業に要する経費の一部を補助する。 (3) 環境整備事業 商店街の良好な環境整備に要する経費の一部を補助する。 (4) 空き店舗改修支援事業 家主と商店街との連携による空き店舗へのテナント誘致活動や、店舗改修に要する経費の一部を補助する。			
(単位:千円)	【事業の成果】 ・H22年度：6件 ・H23年度：7件 ・H24年度：12件			
当初予算額	7,500	【今後の課題・方向性】 より事業効果を高めるため、必要に応じて制度の見直しを行っていく。		
補正予算額	2,500	【事業の成果】 商店街の空き店舗対策や賑わいの創出、環境整備を図る活動を推進することにより、中心市街地の商業活性化を図る。 (1) 空き店舗対策事業 中心市街地内の空き店舗を商業、または非商業施設として活用する事業に要する経費の一部を補助する。 (2) 活動支援事業 地域の文化、人材、資源を活かした商店街づくり事業や、販売促進、調査、その他商業振興につながるソフト事業に要する経費の一部を補助する。 (3) 環境整備事業 商店街の良好な環境整備に要する経費の一部を補助する。 (4) 空き店舗改修支援事業 家主と商店街との連携による空き店舗へのテナント誘致活動や、店舗改修に要する経費の一部を補助する。		
予算流・充用額	0	【今後の課題・方向性】 より事業効果を高めるため、必要に応じて制度の見直しを行っていく。		
最終予算額	10,000	【事業の成果】 商店街の空き店舗対策や賑わいの創出、環境整備を図る活動を推進することにより、中心市街地の商業活性化を図る。 (1) 空き店舗対策事業 中心市街地内の空き店舗を商業、または非商業施設として活用する事業に要する経費の一部を補助する。 (2) 活動支援事業 地域の文化、人材、資源を活かした商店街づくり事業や、販売促進、調査、その他商業振興につながるソフト事業に要する経費の一部を補助する。 (3) 環境整備事業 商店街の良好な環境整備に要する経費の一部を補助する。 (4) 空き店舗改修支援事業 家主と商店街との連携による空き店舗へのテナント誘致活動や、店舗改修に要する経費の一部を補助する。		
本年度決算額	9,927	【今後の課題・方向性】 より事業効果を高めるため、必要に応じて制度の見直しを行っていく。		
区分	決算額	【事業の成果】 商店街の空き店舗対策や賑わいの創出、環境整備を図る活動を推進することにより、中心市街地の商業活性化を図る。 (1) 空き店舗対策事業 中心市街地内の空き店舗を商業、または非商業施設として活用する事業に要する経費の一部を補助する。 (2) 活動支援事業 地域の文化、人材、資源を活かした商店街づくり事業や、販売促進、調査、その他商業振興につながるソフト事業に要する経費の一部を補助する。 (3) 環境整備事業 商店街の良好な環境整備に要する経費の一部を補助する。 (4) 空き店舗改修支援事業 家主と商店街との連携による空き店舗へのテナント誘致活動や、店舗改修に要する経費の一部を補助する。		
財源内訳	国・県支出金 0	【今後の課題・方向性】 より事業効果を高めるため、必要に応じて制度の見直しを行っていく。		
	地方債 0	【事業の成果】 商店街の空き店舗対策や賑わいの創出、環境整備を図る活動を推進することにより、中心市街地の商業活性化を図る。 (1) 空き店舗対策事業 中心市街地内の空き店舗を商業、または非商業施設として活用する事業に要する経費の一部を補助する。 (2) 活動支援事業 地域の文化、人材、資源を活かした商店街づくり事業や、販売促進、調査、その他商業振興につながるソフト事業に要する経費の一部を補助する。 (3) 環境整備事業 商店街の良好な環境整備に要する経費の一部を補助する。 (4) 空き店舗改修支援事業 家主と商店街との連携による空き店舗へのテナント誘致活動や、店舗改修に要する経費の一部を補助する。		
	その他 0	【今後の課題・方向性】 より事業効果を高めるため、必要に応じて制度の見直しを行っていく。		
	一般財源 9,927	【事業の成果】 商店街の空き店舗対策や賑わいの創出、環境整備を図る活動を推進することにより、中心市街地の商業活性化を図る。 (1) 空き店舗対策事業 中心市街地内の空き店舗を商業、または非商業施設として活用する事業に要する経費の一部を補助する。 (2) 活動支援事業 地域の文化、人材、資源を活かした商店街づくり事業や、販売促進、調査、その他商業振興につながるソフト事業に要する経費の一部を補助する。 (3) 環境整備事業 商店街の良好な環境整備に要する経費の一部を補助する。 (4) 空き店舗改修支援事業 家主と商店街との連携による空き店舗へのテナント誘致活動や、店舗改修に要する経費の一部を補助する。		
	計 9,927	【今後の課題・方向性】 より事業効果を高めるため、必要に応じて制度の見直しを行っていく。		
(参考)	前年度決算額 4,431	【事業の成果】 商店街の空き店舗対策や賑わいの創出、環境整備を図る活動を推進することにより、中心市街地の商業活性化を図る。 (1) 空き店舗対策事業 中心市街地内の空き店舗を商業、または非商業施設として活用する事業に要する経費の一部を補助する。 (2) 活動支援事業 地域の文化、人材、資源を活かした商店街づくり事業や、販売促進、調査、その他商業振興につながるソフト事業に要する経費の一部を補助する。 (3) 環境整備事業 商店街の良好な環境整備に要する経費の一部を補助する。 (4) 空き店舗改修支援事業 家主と商店街との連携による空き店舗へのテナント誘致活動や、店舗改修に要する経費の一部を補助する。		
	評価結果	事業の有効性を図りながら、必要な制度の見直しを行っていく。		

経009	項目名	大型空き店舗対策事業費	
主要な施策	商店街にぎわい形成促進事業費	ページ	37
年度	H24	所 属 名	経済観光部 経済・雇用戦略課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】商業振興係 0857-20-3222		
款 商工費	【9次総の施策体系】4203・5103		
項 商工費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P111（経010）、9月補正予算・P17（経020）		
目 商工業振興費	【事業の概要】 空き店舗の中でも、特にまちの景観やイメージを損なう大型空き店舗の解消を推進することにより、中心市街地の賑わい創出と商業振興を図る。 1. 商店街テナントマッチング事業（受託者：鳥取市中心市街地活性化協議会） 対象物件の調査、活用方策の検討、出店意欲のある事業者の掘り起こし、連絡・調整等の業務を委託。 2. 大型空き店舗入居促進補助金 上記1の事業により、当該物件への入居が内定した事業者等に対し、商業施設等としての活用に必要な経費の一部を補助する。 （1）補助対象経費：賃借料、店舗改装費、広告宣伝費など （2）補助率3/4（限度額：300万円）		
(単位:千円)	【事業の成果】 ・H22年度：1件 ・H23年度：2件 ・H24年度：3件		
当初予算額	8,000	【今後の課題・方向性】 より事業効果を高めるため、必要に応じて制度の見直しを行っていく。	
補正予算額	3,000		
予算流・充用額	0		
最終予算額	11,000	【参考】	
本年度決算額	11,000	前年度決算額 8,000	
区分	決算額	評価結果	
財源内訳		事業の有効性を図りながら、必要な制度の見直しを行っていく	
国・県支出金	0		
地方債	0		
その他	0		
一般財源	11,000		
計	11,000		

経010	項目名	商店街イベント助成事業費	
主要な施策	商店街イベント助成事業費	ページ	37
年度	H24	所 属 名	経済観光部 経済・雇用戦略課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】商業振興係 0857-20-3222		
款 商工費	【9次総の施策体系】3203・5102		
項 商工費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P112（経011）		
目 商工業振興費	【事業の概要】 商店街振興組合等が実施するイベント開催等を支援することにより、中心市街地の賑わい創出、商業振興、地域コミュニティの醸成を図る。 1. 商店街イベント開催支援事業事務事業（受託者：鳥取商工会議所） 商店街振興組合等が実施するイベント開催等に係る申請書の受付、指導、審査会の開催等の活動を委託 2. 商店街振興組合等が実施するイベント開催等に要する経費の一部を補助する。 （1）補助対象経費：謝金、旅費、会場借上料など （2）補助率4/5（限度額：80万円）		
(単位:千円)	【事業の成果】 ・H22年度：9件 ・H23年度：11件（来場者数：41,482人） ・H24年度：10件（来場者数：35,266人）		
当初予算額	6,893	【今後の課題・方向性】 イベント開催による集客を商店街の売上増につなげるための取り組みが弱い。今後は、情報発信、集客が商店街の売り上げ増につながるかたちでの事業実施を促していく。	
補正予算額	0		
予算流・充用額	0		
最終予算額	6,893	【参考】	
本年度決算額	6,551	前年度決算額 6,299	
区分	決算額	評価結果	
財源内訳		中心市街地等における賑わい創出、コミュニティの醸成、情報発信、人材育成等に寄与しているものの、イベント開催による集客を商店街の売上増につなげるための取り組みが弱い。今後は、情報発信、集客が商店街の売り上げ増につながるかたちでの事業実施を促していく。	
国・県支出金	0		
地方債	0		
その他	0		
一般財源	6,551		
計	6,551		

経011	項目名	チャレンジショップ運営費	
主要な施策	中心市街地活性化推進事業費	ページ	37
年度	H24	所 属 名	
		経済観光部 経済・雇用戦略課	
事業の概要		<p>【問合せ先】商業振興係 0857-20-3222</p> <p>【9次総の施策体系】3203・5102</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P112（経012）</p> <p>【事業の概要】 新規商業者に対し、空き店舗を一定期間、低家賃で貸し出すことにより、空き店舗の解消による中心市街地の賑わい創出と地元商業者の育成を図る。</p> <p>1. チャレンジショップ運営協議会事務事業（受託者：鳥取商工会議所） 出店者審査、運営に係る各種企画調整、事業の広報等の業務を委託</p> <p>2. チャレンジショップ運営事業（受託者：鳥取商工会議所） 出店者への経営指導・助言、店舗物件の管理、入居者家賃の徴収等の業務を委託</p> <p>【事業の成果】</p> <p>1. 中心市街地における空き店舗解消 ・事業開始時からの卒業生71人のうち、49人が開業。（開業率69%） ・開業者49人のうち、39人が事業継続。（継続率80%） ・中心市街地において43人が開業。（全体の88%）このうち、30人が事業継続。（継続率70%）</p> <p>2. 若手経営者の育成 出店者の年代は、20代・30代で約7割を占める。出店業種は、小売が約5割を占める。</p> <p>【今後の課題・方向性】 より事業効果を高めるため、必要に応じて制度の見直しを行っていく。</p>	
会計名			
一般会計			
款	商工費		
項	商工費		
目	商工業振興費		
(単位:千円)			
当初予算額	2,999		
補正予算額	△219		
予算流・充用額	0		
最終予算額	2,780	その他財源の内訳	
本年度決算額	2,780	分担金	0
		負担金	0
		使用料	0
		手数料	0
		財産収入	0
		寄付金	0
		繰入金	0
		贈収入	0
		その他	0
区分	決算額		
財源内訳	国・県支出金	0	
	地方債	0	
	その他	0	
	一般財源	2,780	
	計	2,780	
(参考)	評価結果		
前年度決算額	8,593	運営協議会の意見を踏まえ、事業内容を見直し効率化を図ることとする。	

経012	項目名	中心市街地活性化推進事業補助金	
主要な施策	中心市街地活性化推進事業費	ページ	37
年度	H24	所 属 名	
		経済観光部 経済・雇用戦略課	
事業の概要		<p>【問合せ先】商業振興係 0857-20-3222</p> <p>【9次総の施策体系】3203</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P113（経013）</p> <p>【事業の概要】 認定中心市街地活性化基本計画等に基づく事業に係る実施設計、および実施を支援することにより、中心市街地の賑わい創出、商業振興を図る。</p> <p>1. 中心市街地活性化推進事業 事業実施のための調査、実施設計、事業計画（基本調査）策定等に要する経費の一部を補助する。</p> <p>2. 中心市街地商業活性化支援事業 国や県の補助金を活用することにより、認定中心市街地活性化基本計画等に基づく事業を実施する場合の経費の一部を補助する。</p> <p>【事業の成果】</p> <p>・H22年度：1件（実施設計：1件） ・H23年度：2件（実施設計：1件 事業実施：1件） ・H24年度：1件（実施設計：1件）</p> <p>【今後の課題・方向性】 中心市街地における商業活性化事業の実施にあたっては、地権者・関係者の合意形成、資金調達等、さまざまなハードルがあることから、引き続き、民間事業者等に対する各種支援を行っていく。</p>	
会計名			
一般会計			
款	商工費		
項	商工費		
目	商工業振興費		
(単位:千円)			
当初予算額	2,000		
補正予算額	19,444		
予算流・充用額	0		
最終予算額	21,444	その他財源の内訳	
本年度決算額	2,000	分担金	0
		負担金	0
		使用料	0
		手数料	0
		財産収入	0
		寄付金	0
		繰入金	0
		贈収入	0
		その他	0
区分	決算額		
財源内訳	国・県支出金	0	
	地方債	0	
	その他	0	
	一般財源	2,000	
	計	2,000	
(参考)	評価結果		
前年度決算額	7,063	中心市街地における商業活性化事業の実施にあたっては、地権者の同意、関係者の合意形成、資金調達等、様々なハードルがある。引き続き、鳥取市中心市街地活性化協議会をはじめとする関係団体等と連携しながら、民間事業者等の活性化の取り組みに対する各種支援を行うことにより、事業の具現化を図る。	

経013	項目名	街中・子育てにぎわい創出事業費	
主要な施策	中心市街地活性化推進事業費	ページ	37
年度	H24	所 属 名 経済観光部 経済・雇用戦略課	
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】商業振興係 0857-20-3222		
款 商工費	【9次総の施策体系】3203・5102		
項 商工費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P113（経014）		
目 商工業振興費	【事業の概要】 空き店舗を活用した子どもたちの遊び場や託児サービスの提供、各種教室の運営等を支援することにより、中心市街地の賑わいの創出、商業振興、子育て機能の充実を図る。 1. 実施主体 鳥取本通商店街振興組合・（社）地域サポートネットワークとっとり 2. 施設概要 (1) 1階 ○親子で遊べる広場 ○委託販売チャレンジックス設置 ○喫茶コーナー ○託児サービス (2) 2階 ○各種教室運営 ○貸し部屋		
(単位:千円)	【事業の成果】 ・H22年度: 19,081人 (平均2,385人/月) ※H22年8月1日オープン ・H23年度: 30,313人 (平均2,526人/月) ・H24年度: 34,691人 (平均2,891人/月)		
当初予算額	7,300	【今後の課題・方向性】 当該施設の持つ集客効果を商店街として十分に活かしてきていない。個店の売上増に向けた取り組みの強化が必要である。	
補正予算額	0	【参考】	
予算流・充用額	0	前年度決算額 7,851	
最終予算額	7,300	評価結果 子育て機能は中心市街地の不足業種であり、子育て世代・若者呼び込むための必要な支援策である。1日に100名弱の利用者があるすべすべコマドに対して、当面は必要に応じて支援が必要である。	
本年度決算額	7,300	評価結果 子育て機能は中心市街地の不足業種であり、子育て世代・若者呼び込むための必要な支援策である。1日に100名弱の利用者があるすべすべコマドに対して、当面は必要に応じて支援が必要である。	
区分	決算額	評価結果 子育て機能は中心市街地の不足業種であり、子育て世代・若者呼び込むための必要な支援策である。1日に100名弱の利用者があるすべすべコマドに対して、当面は必要に応じて支援が必要である。	
財源内訳	0	評価結果 子育て機能は中心市街地の不足業種であり、子育て世代・若者呼び込むための必要な支援策である。1日に100名弱の利用者があるすべすべコマドに対して、当面は必要に応じて支援が必要である。	
国・県支出金	0	評価結果 子育て機能は中心市街地の不足業種であり、子育て世代・若者呼び込むための必要な支援策である。1日に100名弱の利用者があるすべすべコマドに対して、当面は必要に応じて支援が必要である。	
地方債	0	評価結果 子育て機能は中心市街地の不足業種であり、子育て世代・若者呼び込むための必要な支援策である。1日に100名弱の利用者があるすべすべコマドに対して、当面は必要に応じて支援が必要である。	
その他	0	評価結果 子育て機能は中心市街地の不足業種であり、子育て世代・若者呼び込むための必要な支援策である。1日に100名弱の利用者があるすべすべコマドに対して、当面は必要に応じて支援が必要である。	
一般財源	7,300	評価結果 子育て機能は中心市街地の不足業種であり、子育て世代・若者呼び込むための必要な支援策である。1日に100名弱の利用者があるすべすべコマドに対して、当面は必要に応じて支援が必要である。	
計	7,300	評価結果 子育て機能は中心市街地の不足業種であり、子育て世代・若者呼び込むための必要な支援策である。1日に100名弱の利用者があるすべすべコマドに対して、当面は必要に応じて支援が必要である。	

経014	項目名	鳥取市スマート・グリッド・タウン実証事業	
主要な施策	地域経済活性化促進事業費	ページ	37
年度	H24	所 属 名 経済観光部 経済・雇用戦略課	
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】地域経済係 0857-20-3249		
款 商工費	【9次総の施策体系】5102		
項 商工費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P114（経015）		
目 商工業振興費	【事業の概要】 若葉台地区において、とっとり型植物工場、共同蓄電システム、鳥取型スマートハウス等を導入し、ビジネス展開及び低炭素団地を実現するための実証事業を実施する。 ①とっとり型植物工場：鳥取で生産が拡大しつつある「イチゴ」を植物育成装置と鳥取発の超高効率太陽光発電システムによる実証 ②鳥取オリジナルお隣同士エネルギー融通システム：防災時のエネルギー供給などの観点から、共同蓄電池を導入し、自家用自然エネルギー発電の利用と近隣での共同利用が可能なシステムを構築		
(単位:千円)	【事業の成果】 ■平成23年度 システム設計を実施 ■平成24年度 植物工場の建設、スマートグリッド機器・システムを導入し、実証運転を開始		
当初予算額	182,914	【今後の課題・方向性】 ビジネス展開を図るため、継続して実証データの収集・分析、システムのブラッシュアップ及びマーケティング活動を進める。	
補正予算額	4	【参考】	
予算流・充用額	0	前年度決算額 1,697	
最終予算額	182,918	評価結果 「快適環境都市とっとり」の実現、地域の産業活性化、雇用創造につながっており、引き続き事業推進を図る。	
本年度決算額	179,532	評価結果 「快適環境都市とっとり」の実現、地域の産業活性化、雇用創造につながっており、引き続き事業推進を図る。	
区分	決算額	評価結果 「快適環境都市とっとり」の実現、地域の産業活性化、雇用創造につながっており、引き続き事業推進を図る。	
財源内訳	62,691	評価結果 「快適環境都市とっとり」の実現、地域の産業活性化、雇用創造につながっており、引き続き事業推進を図る。	
国・県支出金	0	評価結果 「快適環境都市とっとり」の実現、地域の産業活性化、雇用創造につながっており、引き続き事業推進を図る。	
地方債	0	評価結果 「快適環境都市とっとり」の実現、地域の産業活性化、雇用創造につながっており、引き続き事業推進を図る。	
その他	0	評価結果 「快適環境都市とっとり」の実現、地域の産業活性化、雇用創造につながっており、引き続き事業推進を図る。	
一般財源	116,841	評価結果 「快適環境都市とっとり」の実現、地域の産業活性化、雇用創造につながっており、引き続き事業推進を図る。	
計	179,532	評価結果 「快適環境都市とっとり」の実現、地域の産業活性化、雇用創造につながっており、引き続き事業推進を図る。	

経015	項目名	鳥取市トライアル発注事業																						
主要な施策	地域経済活性化促進事業費	ページ	37	所 属 名																				
年度	H24	経済観光部 経済・雇用戦略課																						
会計名	事業の概要																							
一般会計	【問合せ先】地域経済係 0857-20-3249																							
款 商工費	【9次総の施策体系】5102																							
項 商工費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P115（経017）																							
目 商工業振興費	【事業の概要】 中小企業や大学発ベンチャーによる新商品開発における販路開拓を支援し、新産業の育成を図るとともに、鳥取市における産業の活性化を図ることを目的に実施もの。 市内で製造される優れた新商品等について、鳥取市が積極的にPRを行うとともに、必要に応じて優先的に購入する。 ○対象者 中小企業、協同組合、生産者団体 など ○限度額 100万円 ○募集件数 6件程度（50万円程度を想定）																							
(単位:千円)	【事業の成果】 平成24年度4件のトライアル発注を行い新製品を導入、PRを行った。																							
当初予算額	2,000	【今後の課題・方向性】 優れた新商品の販路拡大には市が積極的に支援し、地域経済の活性化を促進させる必要があるため、継続実施する。																						
補正予算額	0																							
予算流・充用額	326																							
最終予算額	2,326	<table border="1"> <tr> <th colspan="2">其他財源の内訳</th> </tr> <tr> <td>分担金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>負担金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>使用料</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>手数料</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>財産収入</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>寄付金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>繰入金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>贈収入</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> </tr> </table>			其他財源の内訳		分担金	0	負担金	0	使用料	0	手数料	0	財産収入	0	寄付金	0	繰入金	0	贈収入	0	その他	0
其他財源の内訳																								
分担金	0																							
負担金	0																							
使用料	0																							
手数料	0																							
財産収入	0																							
寄付金	0																							
繰入金	0																							
贈収入	0																							
その他	0																							
本年度決算額	1,972																							
区 分	決算額																							
財源内訳	国・県支出金	0																						
	地方債	0																						
	その他	0																						
	一般財源	1,972																						
	計	1,972																						
(参考)	前年度決算額	1,927	<table border="1"> <tr> <td>評価結果</td> <td>中小企業にとって良い製品を開発しても、製品のPRは不可欠であり、市として優良な新商品の販売支援を行うため、当面事業継続する。</td> </tr> </table>		評価結果	中小企業にとって良い製品を開発しても、製品のPRは不可欠であり、市として優良な新商品の販売支援を行うため、当面事業継続する。																		
評価結果	中小企業にとって良い製品を開発しても、製品のPRは不可欠であり、市として優良な新商品の販売支援を行うため、当面事業継続する。																							

経016	項目名	食品加工産業育成事業																						
主要な施策	地域経済活性化促進事業費	ページ	37	所 属 名																				
年度	H24	経済観光部 経済・雇用戦略課																						
会計名	事業の概要																							
一般会計	【問合せ先】地域経済係 0857-20-3249																							
款 商工費	【9次総の施策体系】5102																							
項 商工費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P115（経018）																							
目 商工業振興費	【事業の概要】 市内食品加工産業における新商品開発等の取り組みを支援し、特産品のブランド化・高付加価値化を推進するとともに、新たな加工食品開発を促進することにより、食品加工産業の育成による本市の地域経済活性化を図る。 (1) 補助対象者 中小企業者、協同組合、生産者団体、など (2) 補助限度額 100万円（補助率2/3） (3) 補助対象経費 原材料及び副資材の購入費、外注加工費、機械装置費、委託料、など (4) 補助要件 国、県、他の自治体及び各種団体等から補助をうけていない事業であること。																							
(単位:千円)	【事業の成果】 平成22年度 10件 7,168千円 平成23年度 2件 1,920千円 平成24年度 11件 7,270千円																							
当初予算額	8,000	【今後の課題・方向性】 採択事業者へはインターネットショップ「とっとり市」への加盟を条件とし、その他事業やその他施策へ反映させる。																						
補正予算額	0																							
予算流・充用額	0																							
最終予算額	8,000	<table border="1"> <tr> <th colspan="2">其他財源の内訳</th> </tr> <tr> <td>分担金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>負担金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>使用料</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>手数料</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>財産収入</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>寄付金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>繰入金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>贈収入</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> </tr> </table>			其他財源の内訳		分担金	0	負担金	0	使用料	0	手数料	0	財産収入	0	寄付金	0	繰入金	0	贈収入	0	その他	0
其他財源の内訳																								
分担金	0																							
負担金	0																							
使用料	0																							
手数料	0																							
財産収入	0																							
寄付金	0																							
繰入金	0																							
贈収入	0																							
その他	0																							
本年度決算額	7,270																							
区 分	決算額																							
財源内訳	国・県支出金	0																						
	地方債	0																						
	その他	0																						
	一般財源	7,270																						
	計	7,270																						
(参考)	前年度決算額	5,250	<table border="1"> <tr> <td>評価結果</td> <td>毎年度本事業を活用する企業者によりブランド化が推進されているため、必要に応じて継続する必要がある。</td> </tr> </table>		評価結果	毎年度本事業を活用する企業者によりブランド化が推進されているため、必要に応じて継続する必要がある。																		
評価結果	毎年度本事業を活用する企業者によりブランド化が推進されているため、必要に応じて継続する必要がある。																							

経017	項目名	環日本海経済交流推進事業費	
主要な施策	地域経済活性化促進事業費	ページ	37
年度	H24	所 属 名 経済観光部 経済・雇用戦略課	
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】地域経済係 0857-20-3249		
款 商工費	【9次総の施策体系】5401		
項 商工費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P116(経019)		
目 商工業振興費	【事業の概要】 DBSクルーズの就航により、鳥取県(境港市)から韓国(東海市)・ロシア(ウラジオストク)が繋がり、北東アジア地域での人・物の移動が可能となり、新たな可能性が生まれた。平成23年8月に鳥取市において環日本海拠点都市会議が開催され、参加各都市と一層の経済交流や人的交流を推進していくことが確認された。今後、継続して関係各都市と緊密な連携を保ちつつ、また、市内企業等が環日本海諸国ほか海外との貿易に、必要なサポートを行うなど、環日本海、北東アジア地域との貿易を促進していくことで、本市の経済活性化を図る。		
(単位:千円)	【事業の成果】 ・中国延辺朝鮮族自治州との経済交流覚書締結 ・中国延辺朝鮮族自治州投資貿易フェアに出展(4社) ・ロシアウラジオストク市チャーター便就航による市内企業との商談会(21団体) ・第18回環日本海拠点会議に参加(韓国束草市) ・韓国束草市物産展に市内企業参加(1社)		
当初予算額	14,799	【今後の課題・方向性】 市内企業、経済観光団体等と連携を密にして、具体的な貿易振興、観光客誘致の施策検討・実施等、ひと・ものの交流をの実のある取り組みを行う必要がある。	
補正予算額	△10,607	【参考】	
予算流・充用額	0	評価結果 市内企業・事業者及び経済・観光団体、貿易関係機関、金融機関と県・市等との緊密な連携のもとに、環日本海地域ほか海外における具体的な貿易振興、観光客誘致の施策の検討・実施に取組み、経済・観光交流の一層の活発化を図るため、引き続き事業を進め、本市の経済発展を推進する。	
最終予算額	4,192	その他財源の内訳	
本年度決算額	4,190	分担金	0
区分	決算額	負担金	0
財源内訳	国・県支出金	使用料	0
	地方債	手数料	0
	その他	財産収入	0
	一般財源	寄付金	0
計	4,190	繰入金	0
	4,190	贈収金	0
		その他	0
前年度決算額	1,446		

経018	項目名	LED照明導入促進事業費	
主要な施策	地域経済活性化促進事業費	ページ	37
年度	H24	所 属 名 経済観光部 経済・雇用戦略課	
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】地域経済係 0857-20-3249		
款 商工費	【9次総の施策体系】5102		
項 商工費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P116(経020) 6月補正・P8(経002)		
目 商工業振興費	【事業の概要】 市内で開発又は製造されるLED照明機器の導入促進を行うことにより、市内に集積されたLED関連企業の活性化を図るため、市内企業が開発又は製造したLED照明機器を導入した市内の事業者等に対し、導入に要した経費に対する支援を行う。 ・補助率 1/3 ・補助限度額 500千円 ・対象事業費 2,000千円未満		
(単位:千円)	【事業の成果】 平成22年度 補助利用者 23件 6,294千円 LED製品認定事業者 5社 平成23年度 補助利用者 42件 13,346千円 LED製品認定事業者 7社 平成24年度 補助利用者 54件 10,380千円 LED製品認定事業者 8社		
当初予算額	9,584	【今後の課題・方向性】 LED導入促進は一定の成果を出すことができた。 今後、全国で太刀打ちするため、本市で生産される商品の優位性をより一層高め、鳥取発の全国レベルで品質のよいオンリーワンLED商品を開発する企業への支援にシフトすることが重要である。	
補正予算額	2,470	【参考】	
予算流・充用額	0	評価結果 LED導入促進は成果を生むことができたので、24年度を持って終了する。	
最終予算額	12,054	その他財源の内訳	
本年度決算額	10,380	分担金	0
区分	決算額	負担金	0
財源内訳	国・県支出金	使用料	0
	地方債	手数料	0
	その他	財産収入	0
	一般財源	寄付金	0
計	10,380	繰入金	0
	10,380	贈収金	0
		その他	0
前年度決算額	13,346		

経019	項目名	ソーシャル・コミュニティビジネス支援補助金
------	-----	-----------------------

主要な施策	地域経済活性化促進事業費	ページ	37
-------	--------------	-----	----

所 属 名	経済観光部 経済・雇用戦略課
-------	-------------------

年度	H24
----	-----

### 事業の概要

会計名	
一般会計	
款	商工費
項	商工費
目	商工業振興費

(単位:千円)

当初予算額	5,000
補正予算額	△ 1,000
予算流・充用額	0

最終予算額	4,000	その他財源の内訳	
本年度決算額	2,000	分担金	0
		負担金	0
		使用料	0
		手数料	0
		財産収入	0
		寄付金	0
		繰入金	0
		贈収入	0
		その他	0

区 分	決算額
財源内訳	
国・県支出金	0
地方債	0
その他	0
一般財源	2,000
計	2,000

【問合せ先】 商業振興係 0857-20-3222

【9次総の施策体系】 5102

【予算計上の経過】  
予算事業別概要目次  
当初予算・P117 (経021)

【事業の概要】  
地域において新たな起業や就業の機会を創出し、地域の自立的・持続的な発展に寄与するソーシャルコミュニティ・コミュニティビジネスの起業に対する取組に支援を行う。  
・対象者 市内在住の個人または団体  
・要件 ビジネスプランを作成し審査を通ること  
1名以上の雇用を行うこと  
・補助率 3分の2 (補助金上限1,000千円)

【事業の成果】  
地域課題や社会的課題をビジネスの手法で解決するソーシャルビジネス、コミュニティビジネスの起業の支援を行い、新たな雇用の創造に繋がった。  
平成22年度 3,000千円 (3件)  
平成23年度 3,000千円 (3件)  
平成24年度 2,000千円 (2件)

【今後の課題・方向性】  
平成25年度新規事業の「新規創業・開業支援事業」と統合化することにより、起業化に対しより効率的かつ効果的に事業を展開を図る。

(参考)

前年度決算額	3,000
--------	-------

評価結果	平成25年度新規事業の「新規創業・開業支援事業」と統合化することにより、起業化に対しより効率的かつ効果的に事業展開を図る。
------	---

経020	項目名	食ブランド創出推進事業
------	-----	-------------

主要な施策	地域経済活性化促進事業費	ページ	37
-------	--------------	-----	----

所 属 名	経済観光部 経済・雇用戦略課
-------	-------------------

年度	H24
----	-----

### 事業の概要

会計名	
一般会計	
款	商工費
項	商工費
目	商工業振興費

(単位:千円)

当初予算額	4,568
補正予算額	300
予算流・充用額	△ 3

最終予算額	4,865	その他財源の内訳	
本年度決算額	4,365	分担金	0
		負担金	0
		使用料	0
		手数料	0
		財産収入	0
		寄付金	0
		繰入金	0
		贈収入	0
		その他	0

区 分	決算額
財源内訳	
国・県支出金	1,348
地方債	0
その他	0
一般財源	3,017
計	4,365

【問合せ先】 地域経済係 0857-20-3249

【9次総の施策体系】 5102

【予算計上の経過】  
予算事業別概要目次  
当初予算・P117 (経022)、9月補正予算・P18 (経003)

【事業の概要】  
鳥取市の食材のブランド化を推進するため、以下取組を実施した。  
① 地元食材を中心とした「食(料理)」への関心を高めるための料理を主とする各種情報の配信を行う。  
② 料理講習・講演会(有名料理人による、地元料理人・各地域で料理や食を通した活動をしている者、高校・大学生等対象別に)を実施する。  
③ レシピ本(有名料理人監修:野崎洋光氏)の制作配布を行う。  
④ 専門のアドバイザーも含めた「食ブランド創出プロジェクトチーム」で、料理を活用した様々な事業を検討し実施する。

【事業の成果】  
料理講習の開催・・・3回  
①平成24年9月26日・・・スイーツ 永井紀之氏  
②平成24年11月6日・・・イタリアン料理 笹島保弘氏  
③平成24年12月2日・・・日本料理 野崎洋光氏  
料理コンテスト同時開催

【今後の課題・方向性】  
鳥取ブランド化を図るため、有名シェフから習得した技術や料理・活用方法などを広く普及していく必要がある。

(参考)

前年度決算額	4,821
--------	-------

評価結果	地元料理人の技術向上を図ることができたため、事業としての規模を縮小し、本来の地産地消の推進・食材マッチングの推進を図る。
------	--

経021	項目名	スマートグリッド推進事業		
主要な施策	地域経済活性化促進事業費	ページ	37	所 属 名
年度	H24	経済観光部 経済・雇用戦略課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】地域経済係 0857-20-3249			
款 商工費	【9次総の施策体系】5102			
項 商工費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P118(経023)			
目 商工業振興費	【事業の概要】 ■スマートグリッド推進事業補助金 スマート・グリッド・タウン構想を推進するため本市企業におけるスマートグリッドに対する取り組みや、スマートグリッド関連設備・機器の製作などを支援することにより、産業振興や雇用創造につなげていく。 スマート関連設備・機器の開発に取り組み複数の企業に対して助成を行う。 ○対象者 市内の企業等(2社以上) ○対象事業 スマートグリッド関連設備・機器の開発事業 ○補助率 4分の3(県等の補助を含む) ○対象事業費 7,500千円以内			
(単位:千円)	【事業の成果】 平成22年度 申請件数 1件 補助金額 2,329千円 平成23年度 申請件数 2件 補助金額 8,517千円 平成24年度 申請件数 1件 補助金額 5,625千円			
当初予算額	10,620	【今後の課題・方向性】 スマートグリッド関連に取り組み企業の創出を図る必要がある。		
補正予算額	△4,500			
予算流・充用額	104			
最終予算額	6,224	【参考】		
本年度決算額	6,224	評価結果		
区分	決算額	スマートグリッド、LEDによる成長産業を活性化させるため、継続して事業を取り組んでいく必要がある。		
財源内訳				
国・県支出金	0			
地方債	0			
その他	0			
一般財源	6,224			
計	6,224			
前年度決算額	16,896			

経022	項目名	EV急速充電設備導入事業		
主要な施策	地域経済活性化促進事業費	ページ	37	所 属 名
年度	H24	経済観光部 経済・雇用戦略課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】地域経済係 0857-20-3249			
款 商工費	【9次総の施策体系】5102			
項 商工費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 12月補正・P16(経001)			
目 商工業振興費	【事業の概要】 「低炭素社会」の形成及び「快適・環境都市 鳥取」の実現を目指して、本市の主要施設にEV急速充電設備を設置することにより、スマート・グリッド・タウン構想の推進を図る。			
(単位:千円)	【事業の成果】 平成23年度 2箇所 平成24年度 2箇所			
当初予算額	0	【今後の課題・方向性】 EV急速充電施設の整備を推進することと併せ、民間企業と連携を取り、EVを活用したレンタ事業、カーシェアリング事業を進める。また、小型モビリティの導入検討を図り、住民のライフスタイルにあった快適かつ利便性の高いEV交通システムの構築を図る。		
補正予算額	6,855			
予算流・充用額	△2			
最終予算額	6,853	【参考】		
本年度決算額	5,029	評価結果		
区分	決算額	有利な財源や制度を活用して、必要に応じてEV急速充電施設の導入を推進する。		
財源内訳				
国・県支出金	2,694			
地方債	0			
その他	0			
一般財源	2,335			
計	5,029			
前年度決算額	8,322			

経023	項目名	創業・新分野支援事業		
主要な施策	地域経済活性化促進事業費	ページ	37	所 属 名
年度	H24	経済観光部 経済・雇用戦略課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】商業振興係 0857-20-3222			
款 商工費	【9次総の施策体系】5102			
項 商工費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P118(経024)			
目 商工業振興費	【事業の概要】 1. 新規分野進出支援補助金 大規模事業縮小企業の離職者を2人以上雇用し、新たな分野に取り組む事業者を支援する。 500千円/人(上限2,500千円) 2. 創業・起業化支援補助金 鳥取県「とっとり発ベンチャー企業創出・育成総合支援補助金」の補助事業者に対し、上乘せ補助する。 補助率 4分の1(上限2,500千円)			
(単位:千円)	【事業の成果】 離職者を雇用することにより、技術や経験を地元産業に定着させ、地元産業の再構築に資することができた。 平成24年度 2,500千円(1件)			
当初予算額	20,000	【今後の課題・方向性】 平成24年度終了		
修正予算額	△15,000			
予算流・充用額	0			
最終予算額	5,000	【参考】		
本年度決算額	2,500	評価結果		
区分	決算額	当初の目標を達成したため、平成24年度をもって終了する。		
財源内訳				
国・県支出金	0			
地方債	0			
その他	0			
一般財源	2,500			
計	2,500			
前年度決算額	0			

経024	項目名	農商工連携マッチング事業		
主要な施策	地域経済活性化促進事業費	ページ	37	所 属 名
年度	H24	経済観光部 経済・雇用戦略課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】地域経済係 0857-20-3249			
款 商工費	【9次総の施策体系】5102			
項 商工費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P119(経025)			
目 商工業振興費	【事業の概要】 企業と農林水産業者等とのマッチングを行い、農商工連携、6次産業化を推進することにより、地域経済の活性化を図るための事業を鳥取商工会議所に委託する。 ・農商工連携に係る市内企業のニーズ、シーズの調査 ・農商工異業種のマッチングによる新商品開発等の推進 ・農商工連携セミナーの開催(年間1回)			
(単位:千円)	【事業の成果】 平成24年度委託 4,737,320円 ・農商工異業種のマッチング・・・12件 ・農商工連携セミナーの開催 平成25年2月28日			
当初予算額	4,768	【今後の課題・方向性】 地域経済活性化を図るため、異業種連携により新商品開発を行い多くのニーズがあった。今後も継続して実施する。		
修正予算額	0			
予算流・充用額	0			
最終予算額	4,768	【参考】		
本年度決算額	4,767	評価結果		
区分	決算額	新商品の開発に必要な業務であり、引き続き継続が必要である。		
財源内訳				
国・県支出金	0			
地方債	0			
その他	0			
一般財源	4,767			
計	4,767			
前年度決算額	0			

経025	項目名	職業紹介事業費	
主要な施策	雇用対策事業費	ページ	37
年度	H24	所 属 名 経済観光部 経済・雇用戦略課	
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】雇用政策係 0857-20-3134		
款 商工費	【9次総の施策体系】5104		
項 商工費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P119（経026）		
目 商工業振興費	【事業の概要】 市民の求職者に対して職業斡旋や紹介を行い、雇用の促進を図るため、雇用・就労に関する専門の雇用アドバイザーを配置し、就労相談や企業の求人開拓などにより、雇用機会の創出と求職者の就労支援を行う。		
(単位:千円)	【事業の成果】 企業の事業再編等に伴い離職された方、大学等卒業予定者、高等学校を卒業され未だ就職されておられない方、及び一般の求職者の就職支援を行った。 雇用・就労に関する専門の雇用アドバイザーが相談に応じるほか、ハローワークなどと連携して求職者と求人企業の迅速なマッチングを図った。		
当初予算額	4,574	＜就労支援の実績＞ 平成24年度 登録者数：274人（一般求職者 182人、母子 48人、UJI 44人） 就職者数：197人（一般求職者 158人、母子 20人、UJI 19人）	
補正予算額	△ 19	【今後の課題・方向性】 企業の事業再編に伴い、鳥取労働局管内の雇用情勢が厳しい状況にあることから、引続き雇用アドバイザーによる求人情報の収集を行い、求職者への提供、カウンセリングを行うとともに企業訪問による新規求人開拓などを実施する必要がある。	
予算流・充用額	0	【参考】	
最終予算額	4,555	評価結果	
本年度決算額	4,523	企業の事業再編に伴う離職者が多く発生している現状にあることから、引き続き事業を実施する。	
区分	決算額	評価結果	
財源内訳	0	企業の事業再編に伴う離職者が多く発生している現状にあることから、引き続き事業を実施する。	
国・県支出金	0		
地方債	0		
その他	0		
一般財源	4,523		
計	4,523		
前年度決算額	15		

経026	項目名	雇用対策事務委託事業費	
主要な施策	雇用対策事業費	ページ	37
年度	H24	所 属 名 経済観光部 経済・雇用戦略課	
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】雇用政策係 0857-20-3134		
款 商工費	【9次総の施策体系】5104		
項 商工費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P120（経027）		
目 商工業振興費	【事業の概要】 市内の雇用支援機関の連携を図るために設置した鳥取市雇用促進協議会での事業実施を通じ、雇用の創出を図る。		
(単位:千円)	【事業の成果】 （1）雇用の促進・創造に関する事業 （2）就労（福祉関係含む）状況に対する支援及び相談に関する事業 （3）関係機関及び団体との連携・調整に関する事業 （4）その他協議会の目的のため必要な事業 実施事業：高校・大学生の企業見学会（大学2校、高校5校） パソコン技能&コミュニケーション研修（4回） 合同企業説明会（1回）、ひとり親家庭のパソコン技能研修（1回）		
当初予算額	4,802	【今後の課題・方向性】 厳しい雇用情勢が続いていることから、引き続き雇用促進協議会の事業を通して雇用の促進と人材を育成することにより、地域の雇用に結びつけて行くため、継続実施する。	
補正予算額	4		
予算流・充用額	0		
最終予算額	4,806		
本年度決算額	4,800		
区分	決算額		
財源内訳	0		
国・県支出金	0		
地方債	0		
その他	0		
一般財源	4,800		
計	4,800		
前年度決算額	3,025	評価結果 鳥取労働局管内の有効求人倍率（3月公表）は0.74と県内有効求人倍率の0.77を下回っており、引き続き事業を実施し、地域の人材育成と雇用促進を効果的に進めてゆく。	

経027	項目名	求職者教育訓練助成金		
主要な施策	雇用対策事業費	ページ	37	所 属 名
年度	H24	経済観光部 経済・雇用戦略課		
事業の概要	<p>【問合せ先】雇用政策係 0857-20-3134</p> <p>【9次総の施策体系】5104</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P120(経028)</p> <p>【事業の概要】 65歳以下の求職者が、就職の促進を図るために必要な教育訓練を自己の負担で受けたとき、支給要件期間の制限で雇用保険からの給付対象とならないものに対し、教育訓練助成金を支給する。 ※平成22年度から年齢要件の緩和措置（対象年齢：40歳未満→65歳以下）を図った。 ・補助限度額 50千円 ・補助額 1/2 (※H24年1月1日～12月31日までの間に交付決定を行うものについては、補助限度額8万円、補助率2/3)</p> <p>【事業の成果】 平成22年度 392千円(10件) 平成23年度 318千円(6件) 平成24年度 879千円(15件) 15件中11件が雇用につながった。</p> <p>【今後の課題・方向性】 厳しい雇用情勢が続いていることから、求職者のスキルアップによる雇用の促進を図るため、継続的に推進していく。</p>			
会計名	一般会計			
款	商工費			
項	商工費			
目	商工業振興費			
(単位:千円)	当初予算額	1,660		
	補正予算額	0		
	予算流・充用額	0		
	最終予算額	1,660		
	本年度決算額	902		
区分	決算額			
財源内訳	国・県支出金	0		
	地方債	0		
	その他	0		
	一般財源	902		
	計	902		
参考	前年度決算額	434		
評価結果	就職につながるよう利用を促進し、補助対象教育訓練対象が充実するよう検討する。			

経028	項目名	とっとり若者インターンシップ事業		
主要な施策	雇用対策事業費	ページ	37	所 属 名
年度	H24	経済観光部 経済・雇用戦略課		
事業の概要	<p>【問合せ先】雇用政策係 0857-20-3134</p> <p>【9次総の施策体系】5104</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P121(経029)</p> <p>【事業の概要】 鳥取市雇用創造戦略方針の産業人材育成・確保プロジェクトに位置付けた重点事業の一つである「とっとり若者インターンシップ事業」の実施により、採用意欲のある事業所において、若年求職者の職場体験の促進を図ることで、雇用のミスマッチの解消による雇用創出を図る。 (1)対象者：満40歳未満の市内求職者 (2)受入事業所：採用意欲のある事業所（ものづくりや商店など幅広く対象） (3)実習 ○期間：3ヶ月以上 最大6ヶ月 ○内容：実習プログラムに沿って実施 (4)奨励金等 ○実習生：日額5,000円を支給○受入企業：日額2,000円を支給(H24.1～H24.6 2,000円⇒4,000円に拡充) (5)雇用支援コーディネーターの設置 実習の申し込みから実習終了後の就職に向けた指導まで、実習生、実習受入事業所間の調整を図る。</p> <p>【事業の成果】 登録企業116社、実習申込者166人、雇用達成率78%</p> <p>【今後の課題・方向性】 採用意欲のある企業と求職者のマッチングを更に推進していく必要がある。</p>			
会計名	一般会計			
款	商工費			
項	商工費			
目	商工業振興費			
(単位:千円)	当初予算額	66,684		
	補正予算額	4		
	予算流・充用額	0		
	最終予算額	66,688		
	本年度決算額	52,876		
区分	決算額			
財源内訳	国・県支出金	0		
	地方債	0		
	その他	0		
	一般財源	52,876		
	計	52,876		
参考	前年度決算額	33,385		
評価結果	採用意欲のある企業と求職者のマッチングを更に推進する。			

経029	項目名	雇用創造戦略方針推進費		
主要な施策	雇用対策事業費	ページ	37	所 属 名
年度	H24	経済観光部 経済・雇用戦略課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】雇用政策係 0857-20-3134			
款 商工費	【9次総の施策体系】5104			
項 商工費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P121(経030)			
目 商工業振興費	【事業の概要】 平成22年6月に「鳥取市雇用創造戦略方針」を策定し、雇用創造数の目標を平成22年度～平成25年度末までの4年間で5,000人以上の雇用を確保するため、戦略的な企業立地の推進や環境・エネルギー分野などの成長産業における雇用創造や産業全般の底上げによる雇用の創出に取組む。			
(単位:千円)	【事業の成果】 35の重点事業を推進し、成長産業における雇用創造、産業全般の底上げによる雇用創出を行い、雇用創造数の目標達成を目指して取組を行った。			
当初予算額	2,700	＜雇用創造・創出数実績＞		
補正予算額	0	平成22年度 1,496人		
予算流・充用額	△323	平成23年度 1,489人		
最終予算額	2,377	平成24年度 1,568人		
本年度決算額	2,237	累 計 4,553人		
区分	決算額	【今後の課題・方向性】 引き続き事業を推進し、目標達成を目指す。		
財源内訳	0	引き続き事業を推進し、目標の達成を目指す。		
国・県支出金	0	評価結果		
地方債	0	引き続き事業を推進し、目標の達成を目指す。		
その他	0	評価結果		
一般財源	2,237	引き続き事業を推進し、目標の達成を目指す。		
計	2,237	評価結果		
前年度決算額	2,322	引き続き事業を推進し、目標の達成を目指す。		

経030	項目名	地元就職支援・人材確保支援事業		
主要な施策	雇用対策事業費	ページ	37	所 属 名
年度	H24	経済観光部 経済・雇用戦略課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】雇用政策係 0857-20-3134			
款 商工費	【9次総の施策体系】5104			
項 商工費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P122(経032)			
目 商工業振興費	【事業の概要】 本市内企業の事業再編による離職者の地元定着のための再就職支援と若者の地元定住を促進し、人材を確保することによって地域の産業の再出発に資するため、要件を満たす市内企業へ雇用奨励金を支給する。			
(単位:千円)	・鳥取市求人・求職データベース雇用促進奨励金			
当初予算額	30,000	本市の求人・求職データベースに登録された企業を対象とし、市内企業で事業再編などにより離職した求職者で本市のデータベースに登録された者を正規雇用した企業に奨励金を交付する。		
補正予算額	△24,000	勤務開始日から6か月経過後に一人あたり20万円を交付。		
予算流・充用額	0	【事業の成果】 平成24年度:23社(28名)に対して奨励金の交付を行った。		
最終予算額	6,000	【今後の課題・方向性】 一昨年の三洋電機CE(株)に引き続き、昨年に三洋電機CEBU、テガ三洋工業(株)、日立金属(株)、鳥取電気製造(株)の事業再編に伴う離職者が発生していることから平成25年度も引き続き実施する。		
本年度決算額	5,600	今後は、市内企業の業況等を注視しながら事業の継続を検討する。		
区分	決算額	【今後の課題・方向性】		
財源内訳	0	一昨年の三洋電機CE(株)に引き続き、昨年に三洋電機CEBU、テガ三洋工業(株)、日立金属(株)、鳥取電気製造(株)の事業再編に伴う離職者が発生していることから平成25年度も引き続き実施する。		
国・県支出金	0	今後は、市内企業の業況等を注視しながら事業の継続を検討する。		
地方債	0	【今後の課題・方向性】		
その他	0	一昨年の三洋電機CE(株)に引き続き、昨年に三洋電機CEBU、テガ三洋工業(株)、日立金属(株)、鳥取電気製造(株)の事業再編に伴う離職者が発生していることから平成25年度も引き続き実施する。		
一般財源	5,600	今後は、市内企業の業況等を注視しながら事業の継続を検討する。		
計	5,600	【今後の課題・方向性】		
前年度決算額	0	一昨年、昨年と2年連続して企業の事業再編に伴う離職者が多く発生している。今後の市内企業の業況等を注視しながら事業の継続を検討する。		

経031	項目名	「快適・環境都市鳥取」雇用創造プラン人材育成研修受講奨励金		
主要な施策	雇用対策事業費	ページ	37	所 属 名
年度	H24	経済観光部 経済・雇用戦略課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】雇用政策係 0857-20-3134			
款 商工費	【9次総の施策体系】5104			
項 商工費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 12月補正予算・P16(経002)			
目 商工業振興費	【事業の概要】 鳥取市雇用創造協議会(会長:竹内鳥取市長)が国から採択を受け、平成24年12月から平成27年3月末までの間で実施する「実践型地域雇用創造事業」の事業メニューとして、地域の求職者の就職のためのスキルアップを図ることを目的とした「人材育成メニュー」を実施するにあたり、受講奨励金の交付によって受講者(求職者)の生活安定を図り、メニューの受講に専念できる環境を整えることで、効果的なスキルの習得と受講終了後のスムーズな就職につなげる。			
(単位:千円)	【事業の成果】 環境・エネルギー分野、生活関連産業分野、産業デザイン分野に係る人材育成研修を全8コース開催した。 受講者数66人(うち、受講奨励金支給件数51件) 研修終了後の就職者数28人			
当初予算額	0	【今後の課題・方向性】 就職意欲の強い受講者を一人でも多く受講させ、スキルの習得と受講終了後の就職に結びつける。		
補正予算額	7,279	【事業の成果】 環境・エネルギー分野、生活関連産業分野、産業デザイン分野に係る人材育成研修を全8コース開催した。 受講者数66人(うち、受講奨励金支給件数51件) 研修終了後の就職者数28人		
予算流・充用額	0	【今後の課題・方向性】 就職意欲の強い受講者を一人でも多く受講させ、スキルの習得と受講終了後の就職に結びつける。		
最終予算額	7,279	【事業の成果】 環境・エネルギー分野、生活関連産業分野、産業デザイン分野に係る人材育成研修を全8コース開催した。 受講者数66人(うち、受講奨励金支給件数51件) 研修終了後の就職者数28人		
本年度決算額	3,126	【今後の課題・方向性】 就職意欲の強い受講者を一人でも多く受講させ、スキルの習得と受講終了後の就職に結びつける。		
区分	決算額	【事業の成果】 環境・エネルギー分野、生活関連産業分野、産業デザイン分野に係る人材育成研修を全8コース開催した。 受講者数66人(うち、受講奨励金支給件数51件) 研修終了後の就職者数28人		
財源内訳	国・県支出金	0	【今後の課題・方向性】 就職意欲の強い受講者を一人でも多く受講させ、スキルの習得と受講終了後の就職に結びつける。	
	地方債	0		
	その他	0		
	一般財源	3,126		
	計	3,126		
(参考)	前年度決算額	0	評価結果 国の委託事業が平成27年3月まで行われ、その間引き続き必要な事業を実施する。	

経032	項目名	ふるさと産業規模拡大事業		
主要な施策	伝統産業等支援事業費	ページ	37	所 属 名
年度	H24	経済観光部 経済・雇用戦略課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】地域経済係 0857-20-3249			
款 商工費	【9次総の施策体系】5102			
項 商工費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P123(経033)			
目 商工業振興費	【事業の概要】 陶磁器、竹細工、和紙等のふるさと産業の活性化を図るため、ふるさと産業を行う事業者が、生産ライン又は販売所の拡充又は整備等の既存事業拡大のための設備導入を行う事業に対し支援する。 ・補助率 1/2 ・補助限度額 2,500千円 ※県の交付金対象事業であり、市の負担額の1/5以内の交付金が見込まれる。			
(単位:千円)	【事業の成果】 平成22年度 2件 3,606千円 平成24年度 1件 2,500千円			
当初予算額	2,500	【今後の課題・方向性】 ふるさと産業の活性化を図るため引き続き実施する。		
補正予算額	0			
予算流・充用額	0			
最終予算額	2,500			
本年度決算額	2,500			
区分	決算額			
財源内訳	国・県支出金	772		
	地方債	0		
	その他	0		
	一般財源	1,728		
	計	2,500		
(参考)	前年度決算額	0	評価結果 ふるさと産業の活性化を図るため、今後も継続する必要がある。	

経033	項目名	伝統工芸等後継者育成支援事業費		
主要な施策	伝統産業等支援事業費	ページ	37	所 属 名
年度	H24	経済観光部 経済・雇用戦略課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】地域経済係 0857-20-3249			
款 商工費	【9次総の施策体系】5102			
項 商工費	【予算計上の経過】 予算事業概要目次 当初予算・P123(経034)			
目 商工業振興費	【事業の概要】 陶磁器、竹細工、和紙等の伝統工芸の保存及び活性化を図るため、県の実施する「手仕事担い手育成支援事業」と協調して、後継者の受け入れ事業者と月に15日以上研修に従事する者に対し助成する。 負担区分 県 1/2 市 1/2			
(単位:千円)	【事業の成果】 平成22年度 6,410千円 平成23年度 510千円 平成24年度 2,040千円			
当初予算額	2,040	【今後の課題・方向性】 伝統工芸の保存及び活性化を図るため引き続き実施する。		
補正予算額	0			
予算流・充用額	0			
最終予算額	2,040	【参考】		
本年度決算額	2,040	評価結果 伝統工芸の保存のため引き続き実施する。		
区分	決算額			
財源内訳	国・県支出金	1,020		
	地方債	0		
	その他	0		
	一般財源	1,020		
	計	2,040		
前年度決算額	510			

経034	項目名	因州和紙振興補助金		
主要な施策	伝統産業等支援事業費	ページ	37	所 属 名
年度	H24	経済観光部 経済・雇用戦略課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】地域経済係 0857-20-3249			
款 商工費	【9次総の施策体系】5102			
項 商工費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P124(経035)			
目 商工業振興費	【事業の概要】 因州和紙を伝承していくため、各種事業に取り組んでいる団体の活動を助成し、和紙文化の伝承と和紙産業の安定と発展を図る。 補助事業対象者 鳥取県因州和紙協同組合 上記協同組合に対して活動（水源確保事業、後継者育成事業など）に要する経費を補助			
(単位:千円)	【事業の成果】 平成22年度 841千円 平成23年度 841千円 平成24年度 841千円			
当初予算額	841	【今後の課題・方向性】 因州和紙の伝承と和紙産業の振興のため引き続き実施する。		
補正予算額	0			
予算流・充用額	0			
最終予算額	841	【参考】		
本年度決算額	841	評価結果 因州和紙の振興に必要であり、継続して実施。		
区分	決算額			
財源内訳	国・県支出金	0		
	地方債	0		
	その他	0		
	一般財源	841		
	計	841		
前年度決算額	841			

経035	項目名	文房四宝まつり事業費	
主要な施策	伝統産業等支援事業費	ページ	37
年度	H24	所 属 名 経済観光部 経済・雇用戦略課	
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】地域経済係 0857-20-3249		
款 商工費	【9次総の施策体系】5102		
項 商工費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P124(経036)		
目 商工業振興費	【事業の概要】 因州和紙の伝承を図るため、第17回文房四宝まつり、各産地の行政・産地組合会議との交流を行う。 開催地 宮城県石巻市 開催期間 平成24年11月23日 行政・産地組合会議 11月23日～25日 文房四宝まつり		
(単位:千円)	【事業の成果】 (1) まつり開催に係る協力産地組合(鳥取県因州和紙協同組合)への補助 (2) 行政・産地組合会議への出席		
当初予算額	704	平成16年度(第13回) 宮城県石巻市(雄勝町) 平成18年度(第14回) 三重県鈴鹿市 平成20年度(第15回) 広島県熊野町 平成21年度(第16回) 鳥取県鳥取市 (第16回については日本のまつりに併せての開催のため1年前倒し)	
補正予算額	0	【今後の課題・方向性】 各産地の伝統工芸に触れる機会となり、伝統的工芸品の振興を図ることができるため継続して実施する。	
予算流・充用額	4	【参考】	
最終予算額	708	評価結果	
本年度決算額	700	因州和紙の振興に必要であり、継続して実施。	
区分	決算額	評価結果	
財源内訳	国・県支出金 216	評価結果	
	地方債 0	評価結果	
	その他 0	評価結果	
	一般財源 484	評価結果	
	計 700	評価結果	
前年度決算額	0	評価結果	

経036	項目名	花と木のまつり開催補助金	
主要な施策	中小企業・商業活性化対策事業費	ページ	37
年度	H24	所 属 名 経済観光部 経済・雇用戦略課	
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】商業振興係 0857-20-3222		
款 商工費	【9次総の施策体系】5102		
項 商工費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P125(経038)		
目 商工業振興費	【事業の概要】 花と緑のある豊かな街づくりをめざし、市民のふれあいと賑わいを創出するため歩行者広場を開設し、花と木のまつりを実施する。鳥取市花と木のまつり実行委員会に対して補助金を交付することにより、運営を補助する。		
(単位:千円)	【事業の成果】 花や木にちなんだ催しや各種体験コーナーなど開設し、 花のまつり 35,000人 木のまつり 33,000人 の来場者があり、市民のふれあいと賑わいの創出に繋げることができた。		
当初予算額	1,513	【今後の課題・方向性】 中心市街地がにぎわい、活気生まれる事業であり、引き続き事業を行う。	
補正予算額	0	【参考】	
予算流・充用額	0	評価結果	
最終予算額	1,513	実行委員会事務局を外部団体に移行する等事業内容の検討が必要。	
本年度決算額	1,478	評価結果	
区分	決算額	評価結果	
財源内訳	国・県支出金 0	評価結果	
	地方債 0	評価結果	
	その他 0	評価結果	
	一般財源 1,478	評価結果	
	計 1,478	評価結果	
前年度決算額	1,513	評価結果	

経037	項目名	商工会補助金	
主要な施策	中小企業・商業活性化対策事業費	ページ	37
年度	H24	所 属 名 経済観光部 経済・雇用戦略課	
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】地域経済係 0857-20-3249		
款 商工費	【9次総の施策体系】5103		
項 商工費	【予算計上の経過】 予算事業別概要 当初予算・P126（経039）		
目 商工業振興費	【事業の概要】 平成19年4月1日に商工会が合併し、鳥取市東商工会（国府町、福部町商工会）、鳥取市南商工会（河原町、用瀬町、佐治町商工会）、鳥取市西商工会（気高町、鹿野町、青谷町商工会）の3商工会となった。それらの商工会に対し事業費の一部を補助するもの。 商工業の振興と安定及び福祉の増進を図り、小規模事業の経営支援等を行う事業に対して補助を行い、新市域の中小企業等の振興を図ることを目的とし、三商工会の経営改善普及事業費、地域総合振興事業費に対して助成を行った。		
(単位:千円)	【事業の成果】 平成22年度 26,275千円 平成23年度 26,105千円 平成24年度 25,805千円		
当初予算額	26,105	【今後の課題・方向性】 各商工会の会員増加等組織強化のための支援が必要。	
補正予算額	0		
予算流・充用額	0		
最終予算額	26,105	【事業の成果】 平成22年度 26,275千円 平成23年度 26,105千円 平成24年度 25,805千円	
本年度決算額	25,805	【今後の課題・方向性】 各商工会の会員増加等組織強化のための支援が必要。	
区分	決算額	【事業の成果】 平成22年度 26,275千円 平成23年度 26,105千円 平成24年度 25,805千円	
財源内訳	決算額	【今後の課題・方向性】 各商工会の会員増加等組織強化のための支援が必要。	
国・県支出金	0		
地方債	0		
その他	0		
一般財源	25,805		
計	25,805		
(参考)	前年度決算額	26,105	評価結果 組織合併後6年が経過するため、組織体制に合わせより効果的な補助制度となるよう見直す。

経038	項目名	中小企業等支援事業費	
主要な施策	中小企業・商業活性化対策事業費	ページ	37
年度	H24	所 属 名 経済観光部 経済・雇用戦略課	
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】商業振興係 0857-20-3222		
款 商工費	【9次総の施策体系】5102		
項 商工費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P126（経040）		
目 商工業振興費	【事業の概要】 中小企業を対象とした各種研修会の開催、経営指導並びに専門家派遣によるフォローアップ事業を行うため、鳥取県中小企業団体中央会に事業委託する。 (1) 研修会 (2) 支援事業（フォローアップ） ①中小企業等経営革新研修会 ①連携組織マーケティング支援 ②創業支援研修会 ②中小企業事業連携活動支援 ③コミュニティービジネス研修会 ③コミュニティービジネス創出支援 ④連携組織後継者育成研修会 ④創業・経営革新支援 ⑤中小企業レディース研修会 ⑤業種業態転換支援		
(単位:千円)	【事業の成果】 市内において、中小企業連携による創業や新事業への展開、経営革新及び業態転換等を推進することにより、企業活動を活発化させ、地域活性化を図った。 平成22年度 800千円 平成23年度 800千円 平成24年度 800千円		
当初予算額	800	【今後の課題・方向性】 めまぐるしく変化する経済情勢に対応するため、地域の活力となる中小企業に対して継続的な支援が必要である。	
補正予算額	0		
予算流・充用額	0		
最終予算額	800	【今後の課題・方向性】 めまぐるしく変化する経済情勢に対応するため、地域の活力となる中小企業に対して継続的な支援が必要である。	
本年度決算額	800		
区分	決算額		
財源内訳	決算額		
国・県支出金	0		
地方債	0		
その他	0		
一般財源	800		
計	800		
(参考)	前年度決算額	800	評価結果 めまぐるしく変化する経済情勢に対応するため、地域の活力となる中小企業に対して継続的な支援が必要である。

経039	項目名	B-1グランプリin鳥取開催補助金	
主要な施策	中小企業・商業活性化対策事業費	ページ	37
年度	H24	所 属 名 経済観光部 経済・雇用戦略課	
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】地域経済係 0857-20-3249		
款 商工費	【9次総の施策体系】5201		
項 商工費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P127(経041)		
目 商工業振興費	【事業の概要】 B級グルメによるまちづくりが全国的に注目を集める中、「2012近畿・中国・四国B-1グランプリ」の開催が鳥取市に決定し、平成23年10月17日には、市長を会長とする実行委員会を立ち上げ、開催日も平成24年6月9・10日と正式決定した。 B級グルメを活かした地域活性化イベントを中心市街地において行うことで、食による新たなまちおこしにより、中心市街地の賑わい創出を図る。また、10万人規模の集客が見込まれることから、効果的に鳥取市の観光地等のPRを行うとともに、全市域にわたり相応の経済効果が期待できる。 2012B-1グランプリinTOTTORI実行委員会に対して補助金を支出し、大会の円滑な運営を図る。		
(単位:千円)	【事業の成果】 6月9日・10日 開催 来場者数117千人		
当初予算額	5,000	【参考】	
補正予算額	0	評価結果	
予算流・充用額	0	中心市街地の賑わい創出に一定の成果があった。単年度事業のため終了する。	
最終予算額	5,000	評価結果	
本年度決算額	5,000	中心市街地の賑わい創出に一定の成果があった。単年度事業のため終了する。	
区分	決算額	評価結果	
財源内訳	0	中心市街地の賑わい創出に一定の成果があった。単年度事業のため終了する。	
国・県支出金	0	中心市街地の賑わい創出に一定の成果があった。単年度事業のため終了する。	
地方債	0	中心市街地の賑わい創出に一定の成果があった。単年度事業のため終了する。	
その他	0	中心市街地の賑わい創出に一定の成果があった。単年度事業のため終了する。	
一般財源	5,000	中心市街地の賑わい創出に一定の成果があった。単年度事業のため終了する。	
計	5,000	中心市街地の賑わい創出に一定の成果があった。単年度事業のため終了する。	
前年度決算額	0	中心市街地の賑わい創出に一定の成果があった。単年度事業のため終了する。	

経040	項目名	物産振興事業費	
主要な施策	物産振興事業費	ページ	37
年度	H24	所 属 名 経済観光部 経済・雇用戦略課	
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】地域経済係 0857-20-3249		
款 商工費	【9次総の施策体系】5103		
項 商工費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P127(経042)		
目 商工業振興費	【事業の概要】 (1) 阪神競馬場PR事業 京阪神地区でのらっきょうのPRとらっきょうを通じた交流促進として、物産販売等を実施する。 (2) よこすかカレーフェスティバル出展事業 よこすかカレーフェスティバルに参加し、砂丘らっきょうを中心とした物産販売等を実施する。 (3) HOT連携(姫路市、岡山市)交流事業 HOT連携による交流の一環として、桃太郎まつり(岡山市)、姫路市のイベントに参加し、物産販売等を実施するとともに、3市の地域間交流を図る。 (4) 郡山市交流事業 郡山の農業・観光物産展に参加し、鳥取の名産品等の物産販売等を実施するとともに、姉妹都市である郡山市との地域間交流を図る。 (5) 関西圏での物産交流事業 関西圏(大阪市東成区等)で開催される各種イベントに参加し、物産販売等を実施するとともに、地域間交流を深める。 (6) 釧路大漁どんぱく出展事業 釧路の交流物産展に参加し、鳥取の名産品等の物産販売等を実施するとともに、姉妹都市である釧路市との地域間交流を図る。 (7) 尼崎競艇PR事業 ボートピア鳥取の設置を契機に平成22年1月14日に行政協定を締結した尼崎市との交流を推進し、京阪神地域への情報発信を進めるため、物産展を開催する。		
(単位:千円)	【事業の成果】 各物産展等へ出展し、本市の特産品・観光イベント等のPRが図れた。		
当初予算額	1,227	評価結果	
補正予算額	0	今後も本市の農林水産物等加工品の販売・地域経済の活性化のため、引き続き継続する。	
予算流・充用額	488	評価結果	
最終予算額	1,715	今後も本市の農林水産物等加工品の販売・地域経済の活性化のため、引き続き継続する。	
本年度決算額	1,700	今後も本市の農林水産物等加工品の販売・地域経済の活性化のため、引き続き継続する。	
区分	決算額	今後も本市の農林水産物等加工品の販売・地域経済の活性化のため、引き続き継続する。	
財源内訳	0	今後も本市の農林水産物等加工品の販売・地域経済の活性化のため、引き続き継続する。	
国・県支出金	0	今後も本市の農林水産物等加工品の販売・地域経済の活性化のため、引き続き継続する。	
地方債	0	今後も本市の農林水産物等加工品の販売・地域経済の活性化のため、引き続き継続する。	
その他	0	今後も本市の農林水産物等加工品の販売・地域経済の活性化のため、引き続き継続する。	
一般財源	1,700	今後も本市の農林水産物等加工品の販売・地域経済の活性化のため、引き続き継続する。	
計	1,700	今後も本市の農林水産物等加工品の販売・地域経済の活性化のため、引き続き継続する。	
前年度決算額	1,462	今後も本市の農林水産物等加工品の販売・地域経済の活性化のため、引き続き継続する。	

経041	項目名	物産振興体制強化事業
------	-----	------------

主要な施策	物産振興事業費	ページ	37
-------	---------	-----	----

所 属 名	経済観光部 経済・雇用戦略課
-------	-------------------

年度	H24
----	-----

<b>事業の概要</b>
--------------

会計名	
一般会計	
款	商工費
項	商工費
目	商工業振興費

(単位:千円)	
当初予算額	5,674

補正予算額	0
-------	---

予算流・充用額	0
---------	---

最終予算額	5,674
-------	-------

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
贈収入	0
その他	0

本年度決算額	5,673
--------	-------

区 分	決算額
財源内訳	
国・県支出金	16
地方債	0
その他	0
一般財源	5,657
計	5,673

【問合せ先】地域経済係 0857-20-3249

【9次総の施策体系】5102

【予算計上の経過】  
予算事業別概要目次  
当初予算・P128（経043）

【事業の概要】  
本市の物産品等の物産振興と販路拡大を図るため、鳥取市ふるさと物産館の運営に対して補助をする。  
鳥取市観光コンベンション協会に物産機能を持たせ、物産振興の充実を図る。  
民芸や加工品を展示・販売する物産店を開設し、販路拡大を促進する。

【事業の成果】  
物産会員の民芸品や加工品を展示・販売することができ、販路開拓を促進した。

【今後の課題・方向性】  
本市の物産体制の強化が図れた。引き続き物産振興に努める。

(参考)	
前年度決算額	8,893

評価結果	引き続き本市の物産振興及び物産体制の強化を図る。
------	--------------------------

経042	項目名	インターネットショップ事業費
------	-----	----------------

主要な施策	物産振興事業費	ページ	37
-------	---------	-----	----

所 属 名	経済観光部 経済・雇用戦略課
-------	-------------------

年度	H24
----	-----

<b>事業の概要</b>
--------------

会計名	
一般会計	
款	商工費
項	商工費
目	商工業振興費

(単位:千円)	
当初予算額	17,874

補正予算額	0
-------	---

予算流・充用額	△7
---------	----

最終予算額	17,867
-------	--------

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
贈収入	2,454
その他	0

本年度決算額	14,711
--------	--------

区 分	決算額
財源内訳	
国・県支出金	0
地方債	0
その他	2,454
一般財源	12,257
計	14,711

【問合せ先】地域経済係 0857-20-3249

【9次総の施策体系】5102

【予算計上の経過】  
当初予算・P128（経044）

【事業の概要】  
インターネットショップを開設し、全世界に向けて鳥取市の特産品等を販売することにより、販路拡大・開拓、地元生産者、事業者、行政等のネットワークの構築による物産および産業の振興を図る。

【事業の成果】  
・累計販売額 13,334,878円 ・参加店舗124件（H24年度末時点）

【今後の課題・方向性】  
参加店舗数と販売額のさらなる増加に向け、より魅力のある商品の展開とウェブサイトの充実に取り組む必要がある。

(参考)	
前年度決算額	6,808

評価結果	店舗加入促進と売上増加に向け、より魅力のある商品構成やページの作り込みなどを行う必要がある。
------	--

経043	項目名	企業誘致推進費	
主要な施策	企業誘致促進事業費	ページ	36
年度	H24	所 属 名 経済観光部 企業立地・支援課	
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】誘致・支援係 0857-20-3223		
款 商工費	【9次総の施策体系】5102		
項 商工費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P129（経046）		
目 商工業振興費	【事業の概要】 本市の産業構造の高度化及び雇用機会の拡大を図るため、鳥取市経済活性化戦略にある雇用の拡大や地元企業の発展につながる新たな企業誘致の実現に向けて取り組む。		
(単位:千円)	【事業の成果】 企業誘致を推進するため、鳥取県と関係機関と協調しながら、首都圏・中京圏・関西圏を中心に企業訪問等の活動を積極的に展開し、本市への企業進出を働きかけた。		
当初予算額	4,235	◇誘致企業件数 平成22年度 3社 平成23年度 10社 平成24年度 7件	
補正予算額	90	◇企業訪問件数 平成22年度 262件 平成23年度 548件 平成24年度 255件	
予算流・充用額	5	【今後の課題・方向性】 大手企業の事業再編や縮小により、鳥取県東部の平成25年3月末現在の有効求人倍率は0.74倍と、米子(0.90倍)、倉吉(0.89倍)に比べ低くなっている。 また、世界的な金融危機の引き金となったリーマンショックや東日本大震災による影響は一段落したが、大企業を中心に工場を閉鎖し生産拠点の集約や国外移転、物流コスト・従業員削減といった事業の合理化を進める動きが加速している。ここに来て、安倍内閣の経済政策により経済によりやく明るい兆しも見えてくるようになったが、本市の経済・雇用情勢はまだまだ厳しい状況にある。今後も引き続き誘致活動に力を入れて雇用の場の創出に取り組んでいく。	
最終予算額	4,330	【参考】	
本年度決算額	4,157	評価結果 本市においては、企業誘致推進事業を重要な事業と位置付け、鳥取自動車道の全線開通をはじめ、現在造成を進めている河原インター山手工業団地や充実した支援内容など、企業に対して情報を発信するとともに、鳥取市関西事務所や鳥取県及び県関西本部と連携を図り効果的な誘致活動を展開する。	
区分	決算額		
財源内訳	0		
国・県支出金	0		
地方債	0		
その他	0		
一般財源	4,157		
計	4,157		
前年度決算額	1,974		

経044	項目名	工業団地分譲推進事業費	
主要な施策	企業誘致促進事業費	ページ	36
年度	H24	所 属 名 経済観光部 企業立地・支援課	
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】工業団地整備係 0857-20-3225		
款 商工費	【9次総の施策体系】5102		
項 商工費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P130（経047）、9月補正予算・P18（経004）		
目 商工業振興費	【事業の概要】 企業訪問等により企業誘致を行い、地域経済の活性化と雇用の創出を図る。 また、分譲可能な工場用地不足を解消し企業誘致を戦略的に行うため、新たな工業用地を整備する。		
(単位:千円)	【事業の成果】 関西機械要素技術展に出展し、本市のPRを行った。 企業訪問 255件 布袋工業団地へ、アロイ工業の誘致を行った。 若葉台北工業団地へJCB鳥取カードセンター（仮称）の誘致を行った。 河原インター山手工業団地の関連公共施設である上水道整備工事及び汚水排水施設の測量設計を行った。		
当初予算額	76,957	【今後の課題・方向性】 企業訪問や関西機械要素技術展への出展を通じて、本市工業団地への企業進出の働きかけを強化する。 また、河原インター山手工業団地の関連公共施設の整備を促進し、団地造成工事に着手する。	
補正予算額	113,944		
予算流・充用額	△17		
最終予算額	190,884		
本年度決算額	162,203		
区分	決算額		
財源内訳	0		
国・県支出金	0		
地方債	79,700		
その他	0		
一般財源	82,503		
計	162,203		
前年度決算額	44,250		

経045	項目名	企業立地促進資金貸付金	
主要な施策	企業誘致促進事業費	ページ	36
年度	H24	所 属 名 経済観光部 企業立地・支援課	
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】誘致・支援係 0857-20-3223		
款 商工費	【9次総の施策体系】5102		
項 商工費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P130（経048）		
目 商工業振興費	【事業の概要】 市内に工場の新増設を行う企業に対して行われる融資に対し、預託を行う。		
(単位:千円)	【事業の成果】 本市への企業立地を促進し、産業構造の高度化及び雇用機会の拡大を図るため、金融機関と協調して低利な貸付制度を実施した。		
当初予算額	374,551	〈預託件数〉 平成22年度 15件 平成23年度 24件 平成24年度 23件	
補正予算額	△ 117,683	【今後の課題・方向性】 企業立地・事業拡大の促進に向け、事業を実施する。	
予算流・充用額	0		
最終予算額	256,868	その他の財源の内訳	
本年度決算額	256,868	分担金	0
		負担金	0
		使用料	0
		手数料	0
		財産収入	0
		寄付金	0
		繰入金	0
		贈収入	256,868
		その他	0
区分	決算額		
財源内訳	国・県支出金	0	
	地方債	0	
	その他	256,868	
	一般財源	0	
	計	256,868	
(参考)	評価結果	今後も、工場等の新増設を行う企業に対して低利な貸付（銀行に融資額の一部を預託）となる支援制度の実施に努め、企業立地の促進と、雇用機会の拡大を図る。	
前年度決算額	279,017		

経046	項目名	企業立地促進補助金	
主要な施策	企業誘致促進事業費	ページ	36
年度	H24	所 属 名 経済観光部 企業立地・支援課	
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】誘致・支援係 0857-20-3223		
款 商工費	【9次総の施策体系】5102		
項 商工費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P131（経049）、6月補正予算・P9（経004） 9月補正予算・P19（経005）		
目 商工業振興費	【事業の概要】 企業の立地を促進し、産業構造の高度化及び雇用機会の拡大を図る。		
(単位:千円)	【事業の成果】 工場の新・増設、移転に係る投資及び雇用創出に対して補助を行った。 平成22年度 76,389千円（新規誘致 1件・増設 5件） 平成23年度 145,816千円（新規誘致 1件・増設 8件） 平成24年度 395,037千円（新規誘致 10件・増設 12件）		
当初予算額	144,224	【今後の課題・方向性】 市民生活を支え、地域経済を活性化していくため雇用機会を確保することは市政の重要課題である。 市内企業の生産基盤の高度化や競争力の強化を支援するとともに、新規企業立地を促進することにより雇用創出を図る本事業は、重点を置く施策として拡充を図りながら実施する。	
補正予算額	261,547		
予算流・充用額	0		
最終予算額	405,771	その他の財源の内訳	
本年度決算額	395,037	分担金	0
		負担金	0
		使用料	0
		手数料	0
		財産収入	0
		寄付金	0
		繰入金	0
		贈収入	0
		その他	0
区分	決算額		
財源内訳	国・県支出金	0	
	地方債	0	
	その他	0	
	一般財源	395,037	
	計	395,037	
(参考)	評価結果	グローバル競争に勝ち抜くために国内大手企業が大規模な事業再編に動く中で、企業の国内での新規投資は減少傾向にあり、企業誘致の地域間競争は激化している。各地域が様々な優遇助成制度を武器に誘致合戦を繰り広げる中で、本市においては順調に実績を伸ばしている。今後も、企業ニーズに応じた補助要件の緩和や補助内容の充実を図り、より一層の企業誘致の促進を図りたい。	
前年度決算額	145,816		

経047	項目名	雇用維持・創出支援事業		
主要な施策	企業誘致促進事業費	ページ	36	所 属 名
年度	H24	経済観光部 企業立地・支援課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】誘致・支援係 0857-20-3223			
款 商工費	【9次総の施策体系】5102			
項 商工費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P131（経050）、6月補正予算・P10（経005）			
目 商工業振興費	【事業の概要】 市内企業の雇用維持、創出を促進し、地域経済の発展を図る。			
(単位:千円)	【事業の成果】 企業の、雇用維持・安定を図るために、雇用者数等に応じて補助を行った。 補助件数 ・液晶産業雇用支援補助金 平成23年度 1件 平成24年度 1件 ・雇用維持支援補助金 平成23年度 1件 平成24年度 2件			
当初予算額	225,170	【今後の課題・方向性】 雇用の維持を図るため継続して実施する。		
補正予算額	△ 954			
予算流・充用額	0			
最終予算額	224,216	その他の財源の内訳		
本年度決算額	216,637	分担金	0	
		負担金	0	
		使用料	0	
		手数料	0	
		財産収入	0	
		寄付金	0	
		繰入金	0	
		贈収入	0	
		その他	0	
区分	決算額			
財源内訳	国・県支出金	0		
	地方債	0		
	その他	0		
	一般財源	216,637		
	計	216,637		
(参考)	前年度決算額	207,503	評価結果 リーマンショック以降、過去に例を見ない円高や東日本大震災に起因するリスク分散により、日本国内の製造業は危機的状態であり、事業縮小や生産拠点を海外に転出せざるを得ないなど非常に厳しい状態である。市内企業も、計画的雇用調整や事業の廃止など経営状況は非常に厳しく、本補助金を活用して雇用を確保していくことは重要である。	

経048	項目名	賃貸型工場設置補助金		
主要な施策	企業誘致促進事業費	ページ	36	所 属 名
年度	H24	経済観光部 企業立地・支援課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】誘致・支援係 0857-20-3223			
款 商工費	【9次総の施策体系】5102			
項 商工費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算P132（経051）、6月補正予算P10（経005）			
目 商工業振興費	【事業の概要】 賃貸型工場の立地を支援することにより、企業の立地を促進する。			
(単位:千円)	【事業の成果】 補助件数 平成24年度 2件			
当初予算額	300,000	【今後の課題・方向性】 賃貸型工場を立地する土地は、市土地開発公社の未利用地を活用しているが、工場建設用として使用できる一団の土地が極めて少ない状況である。		
補正予算額	179,991			
予算流・充用額	0			
最終予算額	479,991	その他の財源の内訳		
本年度決算額	479,991	分担金	0	
		負担金	0	
		使用料	0	
		手数料	0	
		財産収入	0	
		寄付金	0	
		繰入金	0	
		贈収入	0	
		その他	0	
区分	決算額			
財源内訳	国・県支出金	239,995		
	地方債	0		
	その他	0		
	一般財源	239,996		
	計	479,991		
(参考)	前年度決算額	0	評価結果 本制度は、企業に鳥取市進出を決めていただく切り札といえる効果的な制度である。しかしながら、補助金が高額（限度額6億円【うち2分の1は県間接補助】）となることから、誘致企業の選定にあたっては、引き続き事業の将来性などを見極めながら、より地域経済の活性化や雇用創出の効果が期待される企業の誘致に努める。	

経049	項目名	地域総合整備資金貸付事業費
------	-----	---------------

主要な施策	企業誘致促進事業費	ページ	36
-------	-----------	-----	----

所 属 名	経済観光部 企業立地・支援課
-------	-------------------

年度	H24
----	-----

<b>事業の概要</b>
--------------

会計名	
一般会計	
款	商工費
項	商工費
目	商工業振興費

(単位:千円)	
当初予算額	187,500
補正予算額	△ 72,500
予算流・充用額	0

最終予算額	115,000
本年度決算額	115,000

区 分	決算額
財源内訳	
国・県支出金	0
地方債	115,000
その他	0
一般財源	0
計	115,000

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
贈収入	0
その他	0

【問合せ先】誘致・支援係 0857-20-3223

【9次総の施策体系】5120

【予算計上の経過】  
予算事業別概要目次  
当初予算・P132 (経052)

【事業の概要】  
地域振興（雇用創出、地域力向上）に資する民間投資を行う企業に対し、長期の無利子資金を融資する。

【事業の成果】  
平成23年度 1件  
平成24年度 1件

【今後の課題・方向性】  
今後も、地域総合整備資金（ふるさと融資）の制度に沿って地域振興に資する民間事業者を支援する。

(参考)	
前年度決算額	40,000

評価結果	今後も、地域総合整備資金（ふるさと融資）の制度に沿って地域振興に資する民間事業者を支援する。
------	--

経050	項目名	ビジネスマッチング支援事業費
------	-----	----------------

主要な施策	中小企業新規開発奨励事業費	ページ	37
-------	---------------	-----	----

所 属 名	経済観光部 企業立地・支援課
-------	-------------------

年度	H24
----	-----

<b>事業の概要</b>
--------------

会計名	
一般会計	
款	商工費
項	商工費
目	商工業振興費

(単位:千円)	
当初予算額	7,000
補正予算額	0
予算流・充用額	0

最終予算額	7,000
本年度決算額	5,779

区 分	決算額
財源内訳	
国・県支出金	0
地方債	0
その他	0
一般財源	5,779
計	5,779

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
贈収入	0
その他	0

【問合せ先】誘致・支援係 0857-20-3223

【9次総の施策体系】5102

【予算計上の経過】  
予算事業別概要目次  
当初予算・P133 (経053)

【事業の概要】  
中小企業等が商品、製品等の販路開拓を行うことにより、新たな販売ルートを開設し、中小企業等の販売力及び競争力を向上させ、本市の産業振興を図る。

【事業の成果】  
中小企業等の販売力及び競争力を向上させ、本市の産業振興を図るため、中小企業等が行う商品、製品、技術等の販路開拓事業を支援した。  
補助件数  
平成22年度 19件  
平成23年度 52件  
平成24年度 22件

【今後の課題・方向性】  
中小企業の支援を目的として、今後も継続して実施する。

(参考)	
前年度決算額	10,912

評価結果	鳥取市雇用創出戦略方針における戦略的企業立地推進プロジェクトの事業であり、また中小企業者からのニーズが高いため、継続する。 なお、同一の補助者について回数制限を設けるなどの見直しを行う。
------	--

経051	項目名	中小企業人材育成支援事業補助金		
主要な施策	中小企業・商業活性化対策事業費	ページ	37	所 属 名
年度	H24	経済観光部 企業立地・支援課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】誘致・支援係 0857-20-3223			
款 商工費	【9次総の施策体系】5102			
項 商工費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P133(経054)			
目 商工業振興費	【事業の概要】 積極的に経営の向上、経営拡大を図る市内の中小企業者が行う人材育成を支援することにより、本市産業の活性化及び雇用の拡大を図る。			
(単位:千円)	【事業の成果】 積極的に経営の向上、経営拡大を図る市内の中小企業者が行う人材育成を支援した。 補助件数 平成22年度 4件 平成23年度 3件 平成24年度 3件			
当初予算額	1,000	【今後の課題・方向性】 従業員の技能向上など、本市中小企業の人材育成のため、支援を今後も継続する。		
補正予算額	0			
予算流・充用額	0			
最終予算額	1,000	評価結果		
本年度決算額	244	中小企業にとって社員教育等の人材育成は重要であり、今後も積極的に支援を行う。		
区分	決算額			
財源内訳	国・県支出金	0		
	地方債	0		
	その他	0		
	一般財源	244		
	計	244		
(参考)	前年度決算額	700		

経052	項目名	観光活動事業費		
主要な施策	観光活動費	ページ	37	所 属 名
年度	H24	経済観光部 観光コンベンション推進課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】観光振興係 0857-20-3227			
款 商工費	【9次総の施策体系】5201			
項 商工費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P134(経055)、9月補正予算・P19(経006)			
目 観光費	【事業の概要】 関係団体との連携を密にして観光行政の円滑な推進を図るとともに、首都圏や関西圏等での積極的な観光PRと観光客の増加を図る活動を行い、また、鳥取市でのコンベンション開催の誘致に努める。 姫路市、岡山市と連携し、HOT連携を推進するため、3都市への誘客と都市間交流を図る。			
(単位:千円)	【事業の成果】 (1) 関係団体との連絡調整 (2) コンベンション誘致活動 (3) 交流都市への郷土芸能団体の派遣 (4) HOTトライアングル関連事業			
当初予算額	1,641	【今後の課題・方向性】 鳥取市の知名度アップに向けて、あらゆる機会や交流の場を捉え、観光PRを行っていききたい。		
補正予算額	120			
予算流・充用額	19			
最終予算額	1,780	評価結果		
本年度決算額	1,045	本市の観光プロモーションを行っていく上で必要な事業であり、今後も継続して実施することが必要である。		
区分	決算額			
財源内訳	国・県支出金	0		
	地方債	0		
	その他	0		
	一般財源	1,045		
	計	1,045		
(参考)	前年度決算額	2,832		

経053	項目名	桜まつり事業委託費	
主要な施策	観光活動費	ページ	37
年度	H24	所 属 名 経済観光部 観光コンベンション推進課	
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】観光政策係 0857-20-3227		
款 商工費	【9次総の施策体系】5201		
項 商工費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P134(経056)		
目 観光費	【事業の概要】 桜の名所である鳥取城跡周辺や袋川周辺へのボンボリ等の設置・点灯を行うことにより、市民に憩いの場を提供するとともに観光客の誘客を行い、もって、中心市街地の賑わいの創出を図る。		
(単位:千円)	【事業の成果】 桜の開花時期に合わせ、ボンボリを鳥取城跡周辺や袋川周辺に設置・点灯し、市民や観光客の誘客を行うとともに、中心市街地のにぎわい創出を図った。 平成24年度 ぼんぼり 147基 照明用ライト 105基		
当初予算額	5,601	【今後の課題・方向性】 桜の開花時期に合わせた本事業を継続・実施することで、観光客の誘客を図ってきたい。	
補正予算額	0		
予算流・充用額	0		
最終予算額	5,601	その他の財源の内訳	
本年度決算額	5,601	分担金	0
		負担金	0
		使用料	0
		手数料	0
		財産収入	0
		寄付金	0
		繰入金	0
		贈収入	0
		その他	0
区分	決算額		
財源内訳			
国・県支出金	0		
地方債	0		
その他	0		
一般財源	5,601		
計	5,601		
(参考)		評価結果	通年、四季折々のイベントを開催し、観光客を呼び込むことは大切であり、桜のシーズンに多くの市民・観光客を呼び込む事業として継続実施していく。
前年度決算額	5,601		

経054	項目名	観光ボランティア活性化事業費	
主要な施策	観光活動費	ページ	37
年度	H24	所 属 名 経済観光部 観光コンベンション推進課	
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】観光振興係 0857-20-3227		
款 商工費	【9次総の施策体系】5201		
項 商工費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P135(経058)		
目 観光費	【事業の概要】 おもてなしの向上を目指して、市内の観光ガイドの組織や観光学を支援し、観光客受け入れ体制の充実を図った。 ①観光ボランティアガイドの活動や連携を支援し、観光客のおもてなし満足度の向上の一役を担う。 ②観光学を開催して、観光マスターの認定者を増加し、本市のホスピタリティの向上を目指した。		
(単位:千円)	【事業の成果】 (1)観光ボランティアガイド件数(7団体) 22年度 8,082人 23年度 7,500人 24年度 3,215人 (2)観光マスター認定数 22年度 41人 23年度 39人 24年度 34人(累計288人)		
当初予算額	1,922	【今後の課題・方向性】 おもてなし力の向上に向けて、観光マスターやボランティアガイドを活用した取り組みや、地域の魅力ある観光商品の案内を行い、本市独自の観光客の受入体制の充実を図ることが重要である。	
補正予算額	0		
予算流・充用額	0		
最終予算額	1,922	その他の財源の内訳	
本年度決算額	1,922	分担金	0
		負担金	0
		使用料	0
		手数料	0
		財産収入	0
		寄付金	0
		繰入金	0
		贈収入	0
		その他	0
区分	決算額		
財源内訳			
国・県支出金	0		
地方債	0		
その他	0		
一般財源	1,922		
計	1,922		
(参考)		評価結果	本市の観光地や観光施設でボランティアとして活躍する観光ガイドや、観光施設やタクシードライバーが取得している観光マスターは、観光客に本市の魅力を紹介するためにも重要な役割を担っており、育成と支援は今後も継続して実施する必要がある。
前年度決算額	1,922		

経055	項目名	「恋人の聖地／白兎海岸」推進事業	
主要な施策	観光活動費	ページ	37
年度	H24	所 属 名 経済観光部 観光コンベンション推進課	
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】観光振興係 0857-20-3227		
款 商工費	【9次総の施策体系】5201		
項 商工費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P136(経059)		
目 観光費	【事業の概要】 平成22年12月に「恋人の聖地」に選定された白兎海岸の観光振興のため、白兎海岸西側の気多ノ前の環境整備を行うとともに、PRイベントを展開した。		
(単位:千円)	【事業の成果】		
当初予算額	3,490	(1) 観光資源の新たな魅力づくりと情報発信を図ること、少子化対策と地域の活性化を目的として、NPO法人地域活性化センターが全国展開している「恋人の聖地」に白兎海岸が選定され、同法人に対し活動負担金を拠出した。	
補正予算額	0	(2) 「恋人の聖地／白兎海岸」をPRするため、年2回のイベントを実施した。 平成24年12月20日 展望広場完成記念式 平成25年3月23日～24日 恋人の聖地を巡るスタンプラリー	
予算流・充用額	0	(3) 恋人の聖地に相応しい環境整備を行った。 ①気多岬の環境整備・ラフチェア、恋人の鐘、コイン投げ入れボックスの設置 ②白兎神社入口にある歌碑の説明看板の設置 ③上記①②の案内看板の設置	
最終予算額	3,490	【今後の課題、方向性】 新たに整備した気多ノ前展望広場と白兎神社、白兎道の駅など既存の観光資源の一体的な周遊観光を図るため、ボランティアガイドやイベント事業を実施する。	
本年度決算額	3,489	その他の内訳	
区分	決算額	分担金	0
財源内訳		負担金	0
国・県支出金	0	使用料	0
地方債	0	手数料	0
その他	0	財産収入	0
一般財源	3,489	寄付金	0
計	3,489	繰入金	0
		贈収入	0
		その他	0
(参考)		評価結果	県内外から訪れる観光客に対して、白兎海岸の更なる魅力をPRするために、事業を継続実施する必要がある。
前年度決算額	2,157		

経056	項目名	観光なでしこチーム活動促進事業費	
主要な施策	観光活動費	ページ	37
年度	H24	所 属 名 経済観光部 観光コンベンション推進課	
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】観光振興係 0857-20-3227		
款 商工費	【9次総の施策体系】5201		
項 商工費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 9月補正予算・P20(経008)		
目 観光費	【事業の目的及び効果】 女性の視点による観光地や食、おみやげなどの魅力向上と効果的な情報発信を行なうため、観光産業関係者や行政関係者、鳥取市観光大学を卒業した女性の「観光マイスター」取得者等10人で「鳥取市観光なでしこチーム」を編成、本市の観光入込客の増加につなげるとともに、市内の観光事業者等にチームの取り組み成果を広げることで、地域のおもてなし力の向上を図る。		
(単位:千円)	【事業の内容】 平成23年度末のチーム提言を具体的に展開するため、下記の事業を実施した。 (1) チーム員による本市観光地の体験取材を実施し、取材結果をフリーペーパーに掲載(Peeba12月号、4ページ)するとともに活動まとめ集を発刊、女性向け観光地情報の発信を行なった。 (2) フリーペーパー記事化にあわせて、中心市街地で活動報告会(12月18日)を開催した。		
当初予算額	0	【今後の方向性】 (1) フリーペーパーを活用した情報掲載による観光資源の掘り起こしを継続するとともに、磨き上げに向けた提言を行う (2) イベント開催を通じてチームの活動範囲を広げ、鳥取ファンの掘り起こしと、外部への情報発信の強化を図る (3) 鳥取市版の女子旅情報を集約し、コース造成とモニターツアー実施につなげる	
補正予算額	898	その他の内訳	
予算流・充用額	0	分担金	0
最終予算額	898	負担金	0
本年度決算額	898	使用料	0
区分	決算額	手数料	0
財源内訳		財産収入	0
国・県支出金	0	寄付金	0
地方債	0	繰入金	0
その他	0	贈収入	0
一般財源	898	その他	0
計	898		
(参考)		評価結果	女性の視点による観光資源の掘り起こし、磨き上げと情報発信は女性観光客誘致において重要であり、チームの活動範囲の拡大と情報発信の強化のため事業を継続実施する必要がある。
前年度決算額	1,575		

経057	項目名	吉岡温泉活性化事業費																					
主要な施策	観光活動費	ページ	37																				
年度	H24	所 属 名 経済観光部 観光コンベンション推進課																					
会計名	事業の概要																						
一般会計	【問合せ先】観光政策係 0857-20-3227																						
款 商工費	【9次総の施策体系】5201																						
項 商工費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P136(経060)																						
目 観光費	【事業の概要】 本市が取得している吉岡温泉温泉権(毎分100L)を活用し、観光振興及び地域振興を図る。県外からの来訪の多く見込めるイベントにおいて、市として観光客へのおもてなしの向上と湯の街とっとり吉岡を強くアピールすることを目的に足湯等を出展する。																						
(単位:千円)	【事業の成果】 鳥取32万石お城まつり(2日間)、かにフェスタ(1日間)計3日による足湯の出展																						
当初予算額	216	【今後の課題・方向性】 吉岡温泉の認知度向上のため足湯の出展だけでなく温泉街の活性化や温泉件の活用についても検討していく必要がある。																					
補正予算額	0																						
予算流・充用額	0																						
最終予算額	216	<table border="1"> <tr> <th colspan="2">その他財源の内訳</th> </tr> <tr> <td>分担金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>負担金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>使用料</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>手数料</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>財産収入</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>寄付金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>繰入金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>贈収金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> </tr> </table>		その他財源の内訳		分担金	0	負担金	0	使用料	0	手数料	0	財産収入	0	寄付金	0	繰入金	0	贈収金	0	その他	0
その他財源の内訳																							
分担金	0																						
負担金	0																						
使用料	0																						
手数料	0																						
財産収入	0																						
寄付金	0																						
繰入金	0																						
贈収金	0																						
その他	0																						
本年度決算額	216																						
区 分	決算額																						
財源内訳																							
国・県支出金	0																						
地方債	0																						
その他	0																						
一般財源	216																						
計	216																						
(参考)	<table border="1"> <tr> <td>評価結果</td> <td>吉岡温泉活性化連絡会(吉岡温泉町、旅館組合、市)協議会の話し合いで、足湯の出展に取り組み、温泉の活用と、吉岡温泉のPR活動を実施することが出来た。</td> </tr> </table>			評価結果	吉岡温泉活性化連絡会(吉岡温泉町、旅館組合、市)協議会の話し合いで、足湯の出展に取り組み、温泉の活用と、吉岡温泉のPR活動を実施することが出来た。																		
評価結果	吉岡温泉活性化連絡会(吉岡温泉町、旅館組合、市)協議会の話し合いで、足湯の出展に取り組み、温泉の活用と、吉岡温泉のPR活動を実施することが出来た。																						
前年度決算額	0																						

経058	項目名	知名度アップイベント推進事業																					
主要な施策	観光宣伝事業費	ページ	37																				
年度	H24	所 属 名 経済観光部 観光コンベンション推進課																					
会計名	事業の概要																						
一般会計	【問合せ先】観光振興係 0857-20-3227																						
款 商工費	【9次総の施策体系】5201																						
項 商工費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P137(経062)																						
目 観光費	【事業の概要】 鳥取県への観光客として有望な市場である関西圏、中京圏、関東圏を中心に、県外で集客力のあるイベントやガイナールのアウェイ戦を活用し、砂の美術館を軸に鳥取の観光をPRしていく。また、これらの事業を通じて、鳥取への観光客の誘客を図ることを目的とする。																						
(単位:千円)	【事業の成果】 関西圏：ポートレース尼崎(尼崎市)、JRA阪神競馬場(宝塚市)、大阪あきない祭り(大阪市)、嵐電嵐山駅(京都市)、MBSラジオウォーク(奈良県桜井市)、三井アウトレットパーク大阪鶴見(大阪市) 首都圏：ふるさと祭り東京(東京ドーム) 中京圏：旅祭り名古屋2013(名古屋市) 芸能団体派遣、ブース出展により観光PRを実施した。 ガイナール戦では「Pride of 中四国」の取り組みとして、徳島ヴォルティス戦(徳島市、鳥取市)、ファジアーノ岡山戦(鳥取市)で芸能団体派遣によるPRを行った。																						
当初予算額	10,810	【今後の課題・方向性】 鳥取市の知名度アップに向けて、あらゆる機会や交流の場を捉えて観光PRを行ってきたい。																					
補正予算額	0																						
予算流・充用額	△337																						
最終予算額	10,473	<table border="1"> <tr> <th colspan="2">その他財源の内訳</th> </tr> <tr> <td>分担金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>負担金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>使用料</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>手数料</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>財産収入</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>寄付金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>繰入金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>贈収金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> </tr> </table>		その他財源の内訳		分担金	0	負担金	0	使用料	0	手数料	0	財産収入	0	寄付金	0	繰入金	0	贈収金	0	その他	0
その他財源の内訳																							
分担金	0																						
負担金	0																						
使用料	0																						
手数料	0																						
財産収入	0																						
寄付金	0																						
繰入金	0																						
贈収金	0																						
その他	0																						
本年度決算額	9,344																						
区 分	決算額																						
財源内訳																							
国・県支出金	0																						
地方債	0																						
その他	0																						
一般財源	9,344																						
計	9,344																						
(参考)	<table border="1"> <tr> <td>評価結果</td> <td>鳥取砂丘、砂の美術館を中心に本市の知名度向上を図り、観光プロモーションを行っていくうえで重要な事業であり、今後も継続して実施することが必要である。</td> </tr> </table>			評価結果	鳥取砂丘、砂の美術館を中心に本市の知名度向上を図り、観光プロモーションを行っていくうえで重要な事業であり、今後も継続して実施することが必要である。																		
評価結果	鳥取砂丘、砂の美術館を中心に本市の知名度向上を図り、観光プロモーションを行っていくうえで重要な事業であり、今後も継続して実施することが必要である。																						
前年度決算額	0																						

経059	項目名	宣伝推進事業費																					
主要な施策	観光宣伝事業費	ページ	37																				
年度	H24	所 属 名 経済観光部 観光コンベンション推進課																					
会計名	事業の概要																						
一般会計	【問合せ先】観光振興係 0857-20-3227																						
款 商工費	【9次総の施策体系】5201																						
項 商工費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P138(経063)、9月補正予算・P21(経009)																						
目 観光費	【事業の概要】 県外旅行会社に対し、本市の魅力ある観光素材や観光ルート、イベント等を積極的に紹介し、旅行企画の提案を行い本市への観光誘客を図る。また、各種メディアへ観光情報発信及び広告掲載を行い本市の知名度アップを図る。この他、本市の観光PRパンフレットの作成を行う。																						
(単位:千円)	【事業の成果】 砂の美術館、鳥取砂丘イリュージョンの旅行商品造成が行われ、本市への観光誘客が図られた。また、全国ネットTV等、各種メディア媒体による本市の観光情報発信が行われた。																						
当初予算額	23,145	【今後の課題・方向性】 今後も、適切な時期を選び、効果的なPR活動を行っていく。																					
補正予算額	1,886																						
予算流・充用額	△ 576																						
最終予算額	24,455	【評価結果】本市の観光地の知名度を上げていく上でも必要な事業であり、今後も効果のある宣伝活動を実施していく。																					
本年度決算額	24,140	<table border="1"> <tr> <th colspan="2">その他財源の内訳</th> </tr> <tr> <td>分担金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>負担金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>使用料</td> <td>14,140</td> </tr> <tr> <td>手数料</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>財産収入</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>寄付金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>繰入金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>贈収入</td> <td>10,000</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> </tr> </table>		その他財源の内訳		分担金	0	負担金	0	使用料	14,140	手数料	0	財産収入	0	寄付金	0	繰入金	0	贈収入	10,000	その他	0
その他財源の内訳																							
分担金	0																						
負担金	0																						
使用料	14,140																						
手数料	0																						
財産収入	0																						
寄付金	0																						
繰入金	0																						
贈収入	10,000																						
その他	0																						
区分	決算額																						
財源内訳																							
国・県支出金	0																						
地方債	0																						
その他	24,140																						
一般財源	0																						
計	24,140																						
(参考)																							
前年度決算額	2,893																						

経060	項目名	岩国祭り派遣事業費																					
主要な施策	観光宣伝事業費	ページ	37																				
年度	H24	所 属 名 経済観光部 観光コンベンション推進課																					
会計名	事業の概要																						
一般会計	【問合せ先】観光振興係 0857-20-3227																						
款 商工費	【9次総の施策体系】5201																						
項 商工費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P138(経064)																						
目 観光費	【事業の概要】 本市の郷土芸能「しゃんしゃん傘踊り」を派遣し、本市の観光宣伝および姉妹都市岩国市との交流を深める。																						
(単位:千円)	【事業の成果】 第56回岩国まつりで行われるステージイベント及びパレードにしゃんしゃん傘踊りを派遣した。																						
当初予算額	535	【今後の課題・方向性】 本市の観光宣伝及び姉妹都市との交流を深めるため、事業を継続していく。																					
補正予算額	0																						
予算流・充用額	△ 11																						
最終予算額	524	【評価結果】本市の観光宣伝及び姉妹都市との交流を深めることが出来、また、今後も事業を継続していく必要がある。																					
本年度決算額	486	<table border="1"> <tr> <th colspan="2">その他財源の内訳</th> </tr> <tr> <td>分担金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>負担金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>使用料</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>手数料</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>財産収入</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>寄付金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>繰入金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>贈収入</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> </tr> </table>		その他財源の内訳		分担金	0	負担金	0	使用料	0	手数料	0	財産収入	0	寄付金	0	繰入金	0	贈収入	0	その他	0
その他財源の内訳																							
分担金	0																						
負担金	0																						
使用料	0																						
手数料	0																						
財産収入	0																						
寄付金	0																						
繰入金	0																						
贈収入	0																						
その他	0																						
区分	決算額																						
財源内訳																							
国・県支出金	0																						
地方債	0																						
その他	0																						
一般財源	486																						
計	486																						
(参考)																							
前年度決算額	0																						

経061	項目名	姫路お城まつり派遣事業費																					
主要な施策	観光宣伝事業費	ページ	37																				
年度	H24	所 属 名 経済観光部 観光コンベンション推進課																					
会計名	事業の概要																						
一般会計	【問合せ先】観光振興係 0857-20-3227																						
款 商工費	【9次総の施策体系】5201																						
項 商工費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P139(経065)																						
目 観光費	【事業の概要】 本市の郷土芸能「しゅんしゅん傘踊り」を派遣し、本市の観光宣伝および姉妹都市姫路市との交流を深めた。																						
(単位:千円)	【事業の成果】 「姫路お城まつり」にしゅんしゅん鈴の音大使、傘踊り連を派遣し、イベントステージ及びパレードで傘踊りを披露し、鳥取砂丘砂の美術館や第48回鳥取しゅんしゅん祭のPRを行った。																						
当初予算額	209	【今後の課題・方向性】 姉妹都市である姫路市との間でイベント交流などを実施し、都市間の結びつきを強めることで経済活性化や観光客誘致に繋げたい。																					
補正予算額	0																						
予算流・充用額	1																						
最終予算額	210	<table border="1"> <tr> <th colspan="2">その他財源の内訳</th> </tr> <tr> <td>分担金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>負担金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>使用料</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>手数料</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>財産収入</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>寄付金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>繰入金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>贈収入</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> </tr> </table>		その他財源の内訳		分担金	0	負担金	0	使用料	0	手数料	0	財産収入	0	寄付金	0	繰入金	0	贈収入	0	その他	0
その他財源の内訳																							
分担金	0																						
負担金	0																						
使用料	0																						
手数料	0																						
財産収入	0																						
寄付金	0																						
繰入金	0																						
贈収入	0																						
その他	0																						
本年度決算額	181																						
区 分	決算額																						
財源内訳																							
国・県支出金	0																						
地方債	0																						
その他	0																						
一般財源	181																						
計	181																						
(参考)	<table border="1"> <tr> <td>前年度決算額</td> <td>189</td> </tr> </table>			前年度決算額	189																		
前年度決算額	189																						
評価結果	本市の姉妹都市である姫路市との観光交流事業を実施していくことは、広域観光の旅行商品の造成や近畿圏からの観光客の誘致を図るうえで重要な事業として位置づけており、今後も継続していく。																						

経062	項目名	国際観光推進事業																					
主要な施策	観光宣伝事業費	ページ	37																				
年度	H24	所 属 名 経済観光部 観光コンベンション推進課																					
会計名	事業の概要																						
一般会計	【問合せ先】観光振興係 0857-20-3227																						
款 商工費	【9次総の施策体系】5201																						
項 商工費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P139(経066)																						
目 観光費	【事業の概要】 近隣の東アジア市場をはじめとする環日本海諸国における本市の知名度をアップや外国人観光客の誘客促進を図るため、FAM・現地プロモーション等を積極的に利用し、砂の美術館や山陰海岸ジオパーク等の観光資源のPRを行う。 鳥取空港の国際チャーター便の就航促進や外国人観光客をターゲットとした3時間1,000円周遊タクシー等を利用した観光商品の開発などを、JNTOや県等関係機関と連携し、官民一体となって進めていく。																						
(単位:千円)	【事業の成果】 ・国際観光客サポートセンター等の観光案内機能の充実 ・訪日韓国人旅行市場に対して、FAMや現地プロモーションを行った。 ・鳥取-ロシア・ウラジオストク空港にチャーター便を就航。また、チャーター便を活用して、鳥取市とウラジオストク市との実質的な交流事業を進めていくため、行政代表団、経済・観光関係者による交流団を派遣した。 ・外国語版観光サイトの充実、きめ細やかな情報発信 ・外国人観光客を対象としたタクシー利用助成 ・外国人観光客おもてなし研修																						
当初予算額	38,925	【今後の課題・方向性】 ・東アジア諸国各市場を中心とした鳥取市の認知度アップを図る為、観光プロモーション活動を実施し、ランドオペレーターとの連携を密にし、国際事情に合わせた確かな広報を図る。 ・JNTOや県等と連携した鳥取空港の国際チャーター便の就航促進や観光商品の開発、ネット社会の普及による多言語Webサイトの充実。 ・1,000円タクシーなど二次交通の利便性向上の為、利用形態の向上を図る。																					
補正予算額	△ 2,335																						
予算流・充用額	△ 17																						
最終予算額	36,573	<table border="1"> <tr> <th colspan="2">その他財源の内訳</th> </tr> <tr> <td>分担金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>負担金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>使用料</td> <td>33,463</td> </tr> <tr> <td>手数料</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>財産収入</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>寄付金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>繰入金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>贈収入</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> </tr> </table>		その他財源の内訳		分担金	0	負担金	0	使用料	33,463	手数料	0	財産収入	0	寄付金	0	繰入金	0	贈収入	0	その他	0
その他財源の内訳																							
分担金	0																						
負担金	0																						
使用料	33,463																						
手数料	0																						
財産収入	0																						
寄付金	0																						
繰入金	0																						
贈収入	0																						
その他	0																						
本年度決算額	36,003																						
区 分	決算額																						
財源内訳																							
国・県支出金	1,899																						
地方債	0																						
その他	33,463																						
一般財源	641																						
計	36,003																						
(参考)	<table border="1"> <tr> <td>前年度決算額</td> <td>23,540</td> </tr> </table>			前年度決算額	23,540																		
前年度決算額	23,540																						
評価結果	観光庁では、訪日外国人旅行者数を将来的に3,000万人にすることを目標とした「デジタルジャパン事業」を策定している。本市においても、東アジア市場（韓国、中国、ロシア）に対する知名度を上げ、各国観光客の誘致に向けた段階的な取り組みを進めていく上で、本事業の継続実施が必要である。																						

経063	項目名	観光協会等補助金	
主要な施策	各種団体補助金負担金	ページ	37
年度	H24	所 属 名	
		経済観光部 観光コンベンション推進課	
事業の概要		<p>【問合せ先】観光政策係 0857-20-3227</p> <p>【9次総の施策体系】5201</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P140(経068)、9月補正予算・P22(経012)</p> <p>【事業の概要】 本市の観光事業の振興を目的に組織されている一般社団法人鳥取市観光コンベンション協会の運営に要する経費を補助することにより、事業の円滑な運営を推進し、本市の観光振興を図る。</p> <p>【事業の成果】 鳥取市観光コンベンション協会の事業の円滑な運営を支援することにより、本市の観光事業の振興につなげることができた。また、平成24年度には法人格を取得し、併せて第3種旅行業免許を取得した。</p> <p>【今後の課題・方向性】 第3種旅行者として法人格を有したことを活用し、着地型観光における独自の観光商品の造成など、地域観光の振興及び自主財源の拡大等を図っていく必要があり、それに向け支援を行っていく。</p>	
会計名	一般会計		
款	商工費		
項	商工費		
目	観光費		
(単位:千円)			
当初予算額	39,483	その他財源の内訳	
補正予算額	2,205	分担金	0
予算流・充用額	0	負担金	0
最終予算額	41,688	使用料	0
本年度決算額	41,688	手数料	0
区分	決算額	財産収入	0
財源内訳	0	寄付金	0
国・県支出金	0	繰入金	0
地方債	0	贈収入	0
その他	0	その他	0
一般財源	41,688	評価結果	
計	41,688	鳥取市観光コンベンション協会は、法人格や第3種旅行業免許の取得などの組織体制についての刷新を図り、また本市と連携して今後の鳥取市の観光振興へ向けた有効な取組を行っており、本市と連携し、取得した団体として、本市の観光振興を推進していくために、本市と連携した取組を行っていくことが期待される。	
(参考)			
前年度決算額	31,370		

経064	項目名	しゃんしゃん祭振興会補助金	
主要な施策	各種団体補助金負担金	ページ	37
年度	H24	所 属 名	
		経済観光部 観光コンベンション推進課	
事業の概要		<p>【問合せ先】観光企画係 0857-20-3227</p> <p>【9次総の施策体系】5201</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P141(経069)</p> <p>【事業の経過・内容】 昭和40年に始まった鳥取しゃんしゃん祭は、鳥取の夏の風物詩として定着しており、毎年4000人の多くの踊り子と観光客で賑わっている。 また、これまで中心市街地の活性化や観光客の増加に向けて、すずこ踊りの参加や曲目の増加、観光PRの活動を行っている。 今後、全国的認知度を高めていくことにより、更なる県外からの誘客を推進すべく充実を図る。 平成22年度第46回より、しゃんしゃんウィークの期間を設け、関連イベントを開催し、更なる集客に向けた取組を行っている。</p> <p>【事業の成果】 観客数 平成22年度 467,200人(10日間) 平成23年度 398,000人(10日間) 平成24年度 372,400人(5日間)</p> <p>【今後の課題・方向性】 ①平成26年度は、祭50回大会の節目を迎え、更なる祭の継続と発展を考えれば、しゃんしゃん祭の一斉踊りを県外へ観光商品として、関西・中部圏へ売り込みを行う。②中心市街地の活性化として、駅前パードハットを活用したウィークイベントの開催を行っていく。③しゃんしゃん踊りを子供時代に体験する機会を設けて、ふるさと鳥取を思う子供達を育てる。</p>	
会計名	一般会計		
款	商工費		
項	商工費		
目	観光費		
(単位:千円)			
当初予算額	20,544	その他財源の内訳	
補正予算額	0	分担金	0
予算流・充用額	0	負担金	0
最終予算額	20,544	使用料	0
本年度決算額	20,544	手数料	0
区分	決算額	財産収入	0
財源内訳	0	寄付金	0
国・県支出金	0	繰入金	0
地方債	0	贈収入	0
その他	0	その他	0
一般財源	20,544	評価結果	
計	20,544	「鳥取しゃんしゃん祭」は、鳥取を代表する祭として49年目を迎え、日本の祭として認知され、毎年しゃんしゃんウィークとして開催内容を充実して、祭そのものは盛り上がっている。今後は観光客の入り込み増加について具体的な取組が必要であり、また、伝統芸能としてのしゃんしゃん踊りの人材育成に取り組む。	
(参考)			
前年度決算額	23,758		

経065	項目名	コンベンション誘致支援事業費	
主要な施策	各種団体補助金負担金	ページ	37
年度	H24	所 属 名	
		経済観光部 観光コンベンション推進課	
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】観光振興係 0857-20-3227		
款 商工費	【9次総の施策体系】5201		
項 商工費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次		
目 観光費	当初予算・P141(経070)、12月補正予算・P17(経004)		
(単位:千円)	【事業の概要】		
当初予算額	8,783	本市で開催が決定したコンベンションの主催者に対し助成金を交付することにより、本市でのコンベンション推進と観光振興を図った。	
補正予算額	367	【事業の成果】	
予算流・充用額	0	(1) 財団法人とっとりコンベンションビューローが行うコンベンション開催助成金交付制度の財源として、鳥取市開催分のコンベンションに対し、交付基準額の1/2を乗じて得た額以内で算出し、予算の範囲内で交付し、コンベンションの誘致に繋げた。	
最終予算額	9,150	【交付先：財団法人とっとりコンベンションビューロー】	
本年度決算額	8,477	(2) 上記の助成対象外となる延べ宿泊人数200泊未満の小規模コンベンションについて、本市開催分について補助金制度を設け、コンベンションの種類に応じて予算の範囲内で補助金を交付し、コンベンションの誘致に繋げた。	
区分	決算額	【鳥取市観光コンベンション協会への間接補助】	
財源内訳		【今後の課題・方向性】	
国・県支出金	0	今後も制度の周知に地道に努め、主催者の要望に応じた支援の検討をしつつ、将来的に本市へのコンベンションの受入の強化を目指す。	
地方債	0		
その他	0		
一般財源	8,477		
計	8,477		
(参考)	評価結果	コンベンションは宿泊も伴い、地域に直接的に経済効果を与える重要なものであり、とっとりコンベンションビューローの制度と合わせて鳥取市への誘致活動には必要な制度であるため継続実施していく。	
前年度決算額	7,192		

経066	項目名	ループバス運行支援助成費	
主要な施策	各種団体補助金負担金	ページ	37
年度	H24	所 属 名	
		経済観光部 観光コンベンション推進課	
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】観光政策係 0857-20-3227		
款 商工費	【9次総の施策体系】5201		
項 商工費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次		
目 観光費	当初予算・P142(経071)		
(単位:千円)	【事業の概要】		
当初予算額	6,608	「ループ麒麟獅子」は、鳥取市内観光地を巡る周遊バスとして、JR鳥取駅を基点とする本市観光の2次交通を担っている。平成17年11月からJR鳥取駅、鳥取砂丘、賀露港の3地点を中心とした新路線での運行を開始しており、観光活性化に重要な役割を果たしている。また、平成24年4月から「砂の美術館」が開館、10月～12月は、JR西日本の重点送客キャンペーンが実施され、ループバスの利用客の増加が見込まれるため、当該期間の増便を行う。	
補正予算額	0	【事業の成果】	
予算流・充用額	0	平成22年度 4,941千円 17,861人	
最終予算額	6,608	平成23年度 7,007千円 16,515人	
本年度決算額	5,395	平成24年度 5,395千円 22,013人	
区分	決算額	【今後の課題・方向性】	
財源内訳		本市の重要な二次交通として、今後も利用客の増加に向け、安全運行と適切な運行ルートなどについて検討し、より一層の利用促進を図る。	
国・県支出金	0		
地方債	0		
その他	0		
一般財源	5,395		
計	5,395		
(参考)	評価結果	本市を訪れる観光客が、観光地や観光施設を効率的に巡回するための二次交通として、ループバスの運行支援は継続して行うことが必要である。	
前年度決算額	7,007		

経067	項目名	観光イベント開催補助金	
主要な施策	各種団体補助金負担金	ページ	37
年度	H24	所 属 名	
		経済観光部 観光コンベンション推進課	
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】観光振興係 0857-20-3227		
款 商工費	【9次総の施策体系】5201		
項 商工費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P143(経073)		
目 観光費	【事業の概要】 地域ごとに開催されている各種観光イベントを支援することにより、観光客の誘致を図った。		
(単位:千円)	【事業の成果】 吉岡温泉ホテルまつり 平成24年6月17日(日) 白兔まつり 平成24年8月1日(水) 青い鳥コンサート 平成24年7月7~28日(毎週土曜日・4回) 市民納涼花火大会補助金 平成24年8月15日(水)		
当初予算額	7,249	【今後の課題・方向性】 県外客の誘客や宿泊につながることを主眼として、多くの市民・県民が参加できるようなイベント内容の企画・実施など事業の効果的な実施方法の検討が重要である。	
補正予算額	0		
予算流・充用額	0		
最終予算額	7,249	【評価結果】 通年、四季折々のイベントを開催し、観光客を呼び込むことは大切であり、実行委員会が主体となった事業に対しての補助を継続実施していく。イベント内容の企画や実施を観光・旅行商品に繋げていき、成果が上がる事業の展開がのぞまれる。	
本年度決算額	7,249	その他財源の内訳	
区分	決算額	分担金	0
国・県支出金	0	負担金	0
地方債	0	使用料	0
その他	0	手数料	0
一般財源	7,249	財産収入	0
計	7,249	寄付金	0
		繰入金	0
		贈収入	0
		その他	0
(参考)			
前年度決算額	3,419		

経068	項目名	ジャンボタクシー運行助成事業費	
主要な施策	各種団体補助金負担金	ページ	37
年度	H24	所 属 名	
		経済観光部 観光コンベンション推進課	
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】観光政策係 0857-20-3227		
款 商工費	【9次総の施策体系】5201		
項 商工費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P143(経074)		
目 観光費	【事業の概要】 本市においては、首都圏からの東京便の利用者増に向けて、二次交通の整備の充実を図ることが重要と考えている。県、市、県ハイヤータクシー協会の関係者等と協議を行い、ジャンボタクシーを運行することで鳥取砂丘、砂の美術館への観光客等の利便性を図っている。		
(単位:千円)	【事業の成果】 平成24年度 運行日数 142日×3運行(増便11) 利用者数 922名 料金 500円/人 毎週土日運行		
当初予算額	830	【今後の課題・方向性】 鳥取砂丘に訪れる観光客の利便性を確保するため、また二次交通としてのツールの確保のため、継続した支援が必要である。	
補正予算額	0		
予算流・充用額	0		
最終予算額	830	その他財源の内訳	
本年度決算額	597	分担金	0
区分	決算額	負担金	0
国・県支出金	0	使用料	0
地方債	0	手数料	0
その他	0	財産収入	0
一般財源	597	寄付金	0
計	597	繰入金	0
		贈収入	0
		その他	0
(参考)		【評価結果】 関東からの観光客を鳥取空港で迎え、鳥取砂丘を中心とした誘客につながった。また二次交通としてのツールの確保のため、継続した支援が必要である。	
前年度決算額	614		

経069	項目名	観光地施設整備事業費	
主要な施策	観光施設整備事業費	ページ	37
年度	H24	所 属 名 経済観光部 観光コンベンション推進課	
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】観光政策係 0857-20-3227		
款 商工費	【9次総の施策体系】5201		
項 商工費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P144(経075)、9月補正予算・P22(経012)		
目 観光費	【事業の概要】 本市にある観光施設の景観保全や、観光地、施設のイメージアップを図るために、各観光地周辺の整備を行う。		
(単位:千円)	【事業の成果】 市内にある観光施設等の維持管理のため、電気・水道・下水道等料金の支払い、土地の借上げ料の支払いを行った。 清掃・除草等の管理業務や、施設の点検・検査等業務を実施した。		
当初予算額	8,156	【今後の課題・方向性】 今後も観光地や観光施設の魅力向上と安全確保のため、各総合支所などと連携しながら、観光地の整備に努めていく。	
補正予算額	1,535		
予算流・充用額	203		
最終予算額	9,894	【参考】	
本年度決算額	9,238	評価結果	
区分	決算額	観光地や観光施設の維持管理として本事業は必要であり、必要性や緊急性を判断して対応が図られた。	
国・県支出金	0		
地方債	0		
その他	9,238		
一般財源	0		
計	9,238		
前年度決算額	9,074		

経070	項目名	たんぼり荘、山王谷キャンプ場管理運営費	
主要な施策	観光施設整備事業費	ページ	37
年度	H24	所 属 名 経済観光部 観光コンベンション推進課	
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】観光政策係 0857-20-3227		
款 商工費	【9次総の施策体系】5201		
項 商工費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算一、12月補正予算・P18(経005)		
目 観光費	【事業の概要】 たんぼり荘、山王谷キャンプ場は、青少年の健全育成を目的とし、自然環境のレジャー基地とし設立され、指定管理者(株式会社さじ貳拾壹)の管理運営により、佐治地域の観光振興を図っている。		
(単位:千円)	【事業の成果】		
当初予算額	1,438	利用者数	たんぼり荘
補正予算額	230	22年度	612人
予算流・充用額	0	23年度	677人
最終予算額	1,668	24年度	1,000人
本年度決算額	1,616	山王谷キャンプ場	
区分	決算額	22年度	657人
国・県支出金	0	23年度	870人
地方債	0	24年度	833人
その他	0	【今後の課題・方向性】 五しの里協議会との事業連携、様々なグリーンツーリズムに関連した体験事業の実施など、佐治地域の特性を生かした利用者の拡大を図っていく。	
一般財源	1,616		
計	1,616		
前年度決算額	2,053	【参考】	
		評価結果	
		指定管理者制度のもとで効率的・効果的な施設の管理運営を図っており、佐治地域の振興に役立っている。	

経071	項目名	吉岡温泉整備事業補助金	
主要な施策	観光施設整備事業費	ページ	37
年度	H24	所 属 名 経済観光部 観光コンベンション推進課	
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】観光振興係 0857-20-3227		
款 商工費	【9次総の施策体系】5201		
項 商工費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P145(経077)		
目 観光費	【事業の概要】 吉岡温泉の活性化を図り、もって本市の観光振興を図ることを目的に、温泉旅館組合または町内会が温泉地としての魅力向上のために実施するまちなみ整備事業に対して1件あたり500千円を限度として事業費の2分の1を補助する。		
(単位:千円)	【事業の成果】 平成22年度 1,000千円 平成23年度 5,000千円 平成24年度 500千円		
当初予算額	1,000	【今後の課題・方向性】 地元や温泉旅館組合と連携して将来的な吉岡温泉街の景観を目標立て、事業に取り組む。	
補正予算額	0		
予算流・充用額	0		
最終予算額	1,000	その他の内訳	
本年度決算額	500	分担金	0
		負担金	0
		使用料	0
		手数料	0
		財産収入	0
		寄付金	0
		繰入金	0
		贈収入	0
		その他	0
区分	決算額		
国・県支出金	0		
地方債	0		
その他	0		
一般財源	500		
計	500		
(参考)		評価結果	吉岡温泉は、鳥取いなば温泉郷の中で、歴史と風情の残る唯一の温泉地であり、必要な整備を年度ごとに取り組んできた。温泉地としての本市の目指す滞在型観光に繋げていきたい。
前年度決算額	5,000		

経072	項目名	観光サイン設置事業費	
主要な施策	観光施設整備事業費	ページ	37
年度	H24	所 属 名 経済観光部 観光コンベンション推進課	
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】観光政策係 0857-20-3227		
款 商工費	【9次総の施策体系】5201		
項 商工費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P145(経078)、9月補正予算・P23(経014)、12月補正予算・P18(経006)		
目 観光費	【事業の概要】 市内全域の観光案内看板及び誘導看板等の整備を行い、観光情報発信及びスムーズな観光客の誘導を行う。		
(単位:千円)	【事業の成果】 (1) サンロード入口壁面看板張替業務 (2) 佐治町観光看板修繕 (3) そば道場看板修繕		
当初予算額	2,000	【今後の課題・方向性】 本市を訪れる観光客をスムーズに観光地まで誘導するための案内標識として観光サインは重要である。新規整備や維持管理を継続して実施する必要がある。	
補正予算額	1,041		
予算流・充用額	146		
最終予算額	3,187	その他の内訳	
本年度決算額	3,053	分担金	0
		負担金	0
		使用料	0
		手数料	0
		財産収入	0
		寄付金	0
		繰入金	0
		贈収入	350
		その他	0
区分	決算額		
国・県支出金	597		
地方債	0		
その他	350		
一般財源	2,106		
計	3,053		
(参考)		評価結果	本市を訪れる観光客をスムーズに観光地まで誘導するための案内標識として観光サインは重要である。新規整備や維持管理を継続して実施する必要がある。
前年度決算額	2,888		

経073	項目名	鳥取市道の駅管理運営費	
主要な施策	観光施設整備事業費	ページ	37
年度	H24	所 属 名 経済観光部 観光コンベンション推進課	
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】観光政策係 0857-20-3227		
款 商工費	【9次総の施策体系】5201		
項 商工費	【予算計上の経過】予算事業別概要目次 6月補正予算・P10(経006)		
目 観光費	【事業の概要】 本市の観光情報の発信及び地域特産品の紹介を通して、観光振興及び地域の活性化を図るため、「鳥取市道の駅清流茶屋かわはら」と「鳥取市道の駅神話の里白うさぎ」を平成18年4月に同時オープンした。 管理運営については、それぞれ指定管理者によって行われている。		
(単位:千円)	【事業の成果】 基本協定及び年度協定に基づき、鳥取市道の駅の管理運営を行う。(平成23年4月～平成28年3月)		
当初予算額	0	(委託先) 鳥取市道の駅清流茶屋かわはら (株) ドリームかわはら 利用者数 23年 1,347,412人 24年 1,389,039人 鳥取市道の駅神話の里白うさぎ (有) むらかみ 利用者数 23年 612,216人 24年 634,42人	
補正予算額	1,890	【今後の課題・方向性】 鳥取自動車道の全線開通により関西圏や中京圏まで観光客の増加が予想される。きめ細やかなサービスと特色ある施設運営が必要となる。	
予算流・充用額	0	【参考】	
最終予算額	1,890	評価結果 施設の維持管理については評価は高く、また両施設とも地域の特産物や周辺観光地の売り込みなど周遊観光につなげる取組みを積極的に行った。	
本年度決算額	840	その他の財源の内訳	
区分	決算額	分担金 0	
国・県支出金	0	負担金 0	
地方債	0	使用料 0	
その他	0	手数料 0	
一般財源	840	財産収入 0	
計	840	寄付金 0	
		繰入金 0	
		贈収入 0	
		その他 0	

経074	項目名	観光産業育成支援事業費	
主要な施策	観光産業育成支援事業費	ページ	37
年度	H24	所 属 名 経済観光部 観光コンベンション推進課	
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】観光政策係 0857-20-3227		
款 商工費	【9次総の施策体系】5201		
項 商工費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P147(経081)		
目 観光費	【事業の概要】 基幹産業としての観光産業の確立のため、民間が行う観光振興に向けた積極的な取り組みに対し支援した。		
(単位:千円)	【事業の成果】 (補助金交付件数) 平成22年度 24件 平成23年度 33件 平成24年度 24件		
当初予算額	15,000	【今後の課題・方向性】 補助対象を施設の改修、観光客誘客、広報宣伝等としており、今後も本市の観光振興を進めるために、補助の対象や補助率等を検討していく必要がある。	
補正予算額	0	【参考】	
予算流・充用額	0	評価結果 広域宣伝や環境整備への投資が、ただちに効果を発揮して観光客の増加につながることは難しいが、観光客のニーズや旅行実態に合わせて迅速に対応することは必要である。市が一部支援することによって事業が積極的に進められることもあり、実施状況を確認しながら補助対象などを検討していきたい。	
最終予算額	15,000	その他の財源の内訳	
本年度決算額	14,977	分担金 0	
区分	決算額	負担金 0	
国・県支出金	1,413	使用料 0	
地方債	0	手数料 0	
その他	0	財産収入 0	
一般財源	13,564	寄付金 0	
計	14,977	繰入金 0	
		贈収入 0	
		その他 0	

経075	項目名	観光施設運営事業費特別会計へ繰出	
主要な施策	観光施設運営事業費特別会計へ繰出	ページ	37
年度	H24	所 属 名	
		経済観光部 観光コンベンション推進課	
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】観光政策係 0857-20-3227		
款 商工費	【9次総の施策体系】5201		
項 他会計繰出	【予算計上の経過】予算事業別概要目次 9月補正予算・P24(経015)		
目 観光施設運営事業費特別会計へ繰出	【事業の概要】 観光施設運営事業費特別会計への繰り出し金		
(単位:千円)	【事業の成果】 56,326千円		
当初予算額	53,981	【今後の課題・方向性】 特別会計予算に基づき適正に繰り出しを行う。	
補正予算額	2,345		
予算流・充用額	0		
最終予算額	56,326	【参考】	
本年度決算額	56,289	前年度決算額 54,267	
区分	決算額	評価結果	
国・県支出金	0	事業を進めるためには継続実施する必要があり、適切な繰り出し額である。	
地方債	0		
その他	0		
一般財源	56,289		
計	56,289		
財源内訳		評価結果	
分担金	0	事業を進めるためには継続実施する必要があり、適切な繰り出し額である。	
負担金	0		
使用料	0		
手数料	0		
財産収入	0		
寄付金	0		
繰入金	0		
贈収金	0		
その他	0		

経076	項目名	砂像製作事業費																															
主要な施策	観光活動費	ページ	37																														
年度	H24	所 属 名																															
		経済観光部 鳥取砂丘・ジオパーク推進課																															
会計名	事業の概要																																
一般会計	【問合せ先】鳥取砂丘・ジオパーク推進課 0857-20-3036																																
款 商工費	【9次総の施策体系】5201																																
項 商工費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P135(経057)、9月補正予算・P20(経007) 12月補正予算・P17(経003)																																
目 観光費	【事業の概要】 旧福部村において平成10年の合併70周年記念から砂丘の新たな象徴として砂像を制作・展示してきた。平成18年度に鳥取砂丘情報館サンドバルとっとり隣接地に砂像7体を制作し「砂の美術館第1期展示」を開催。平成23年度に世界初となる全天候型の砂像展示施設の整備を行い、平成24年度に第5期展示を開催。。																																
(単位:千円)	<table border="1"> <tr> <th colspan="2">＜砂の美術館開催実績＞</th> <th>作品テーマ</th> <th>来場者数</th> <th>開催日数</th> </tr> <tr> <td>平成18年度</td> <td>第1期展示</td> <td>イタリア・ルネサンス</td> <td>110,962人</td> <td>47日</td> </tr> <tr> <td>平成20年度</td> <td>第2期展示</td> <td>世界遺産・アジア編</td> <td>322,197人</td> <td>253日</td> </tr> <tr> <td>平成21年度</td> <td>第3期展示</td> <td>砂で世界旅行・オーストリア編</td> <td>170,679人</td> <td>108日</td> </tr> <tr> <td>平成22年度</td> <td>第4期展示</td> <td>砂で世界旅行・アフリカ編</td> <td>414,323人</td> <td>257日</td> </tr> <tr> <td>平成24年度</td> <td>第5期展示</td> <td>砂で世界旅行・イギリス編</td> <td>526,768人</td> <td>268日</td> </tr> </table>			＜砂の美術館開催実績＞		作品テーマ	来場者数	開催日数	平成18年度	第1期展示	イタリア・ルネサンス	110,962人	47日	平成20年度	第2期展示	世界遺産・アジア編	322,197人	253日	平成21年度	第3期展示	砂で世界旅行・オーストリア編	170,679人	108日	平成22年度	第4期展示	砂で世界旅行・アフリカ編	414,323人	257日	平成24年度	第5期展示	砂で世界旅行・イギリス編	526,768人	268日
＜砂の美術館開催実績＞		作品テーマ	来場者数	開催日数																													
平成18年度	第1期展示	イタリア・ルネサンス	110,962人	47日																													
平成20年度	第2期展示	世界遺産・アジア編	322,197人	253日																													
平成21年度	第3期展示	砂で世界旅行・オーストリア編	170,679人	108日																													
平成22年度	第4期展示	砂で世界旅行・アフリカ編	414,323人	257日																													
平成24年度	第5期展示	砂で世界旅行・イギリス編	526,768人	268日																													
当初予算額	113,389	【事業の成果】																															
補正予算額	5,676	・第5期展示関連イベントの開催(完成記念式典、オープニング、集客イベント)																															
予算流・充用額	1,987	・砂の美術館各種環境整備(場内スロープ・手摺・各種サイン等)の実施																															
最終予算額	121,052	・第6期展示開催の準備(砂像制作・展示準備)																															
本年度決算額	107,992	【今後の課題・方向性】 砂の美術館は世界で初めてとなる全天候型の砂像展示専門の美術館であり、砂像展示や集客イベント等の実施を通じて、県外客の滞在型観光の促進や市民のさらなる来場促進を図る。また来場者の満足度を高めるため各種環境整備も合わせて実施する。																															
区分	決算額	【参考】																															
国・県支出金	0	世界初の砂像展示専門の美術館という唯一無二の特性を最大限に活かし、世界トップレベルの砂像彫刻家により制作される“砂像”の魅力を最大限に発信し、「砂像のまち鳥取市」の積極的な推進を図る。																															
地方債	0	また、利用料金制への移行など外部委託等も検討し、より効率的かつ積極的な事業の遂行を考えていく必要がある。																															
その他	107,992	評価結果																															
一般財源	0	世界初の砂像展示専門の美術館という唯一無二の特性を最大限に活かし、世界トップレベルの砂像彫刻家により制作される“砂像”の魅力を最大限に発信し、「砂像のまち鳥取市」の積極的な推進を図る。																															
計	107,992	また、利用料金制への移行など外部委託等も検討し、より効率的かつ積極的な事業の遂行を考えていく必要がある。																															
財源内訳		評価結果																															
分担金	0	世界初の砂像展示専門の美術館という唯一無二の特性を最大限に活かし、世界トップレベルの砂像彫刻家により制作される“砂像”の魅力を最大限に発信し、「砂像のまち鳥取市」の積極的な推進を図る。																															
負担金	0	また、利用料金制への移行など外部委託等も検討し、より効率的かつ積極的な事業の遂行を考えていく必要がある。																															
使用料	107,992																																
手数料	0																																
財産収入	0																																
寄付金	0																																
繰入金	0																																
贈収金	0																																
その他	0																																
前年度決算額	103,621																																

経077	項目名	「砂像のまち鳥取」推進事業費		
主要な施策	観光宣伝事業費	ページ	37	所 属 名
年度	H24	経済観光部 鳥取砂丘・ジオパーク推進課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】 鳥取砂丘・ジオパーク推進課 0857-20-3036			
款 商工費	【9次総の施策体系】 5201			
項 商工費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P140（経067）、9月補正予算・P21（経010）			
目 観光費	【事業の概要】 鳥取市の新たな観光ブランドとなった「砂像」を広く市民に広報し、砂像文化を市民とともに育み、「砂像のまち鳥取市」を全国、全世界に発信する。			
(単位:千円)	【事業の成果】			
当初予算額	5,700	1 H24.10～12月にJRデスティネーションキャンペーンの開催とまんが博開催に伴い、鳥取駅前にウェルカム砂像を制作・展示した。		
補正予算額	6,000	2 しゃんしゃんウィーク期間中に、しゃんしゃん祭を盛り上げるため、JR鳥取駅前に砂像を展示した。		
予算流・充用額	20	3 本市と長崎県佐世保市のハウステンボスの交流を踏まえ、また九州からの誘客促進を目的にハウステンボス内に砂像を制作・展示した。		
最終予算額	11,720	【今後の課題・方向性】 「砂の美術館」を中心に砂像を活かしたまちづくりを進めていく上で、砂像に対する市民意識の更なる向上を図れるよう事業展開を検討する必要がある。		
本年度決算額	11,609	【参考】		
区分	決算額	評価結果		
財源内訳		「砂像のまち鳥取」の推進に関しては「砂の美術館」を中心に砂像を活かしたまちづくりの推進が基本となる。砂像という素材に対する親しみを深めるため市民向けの取組の強化と合わせ、砂像のまち鳥取に誘客を図るべく県内外での砂像の制作・展示も砂の美術館への誘客と合わせ一体的かつ戦略的に展開していく必要がある。		
国・県支出金	0	【参考】		
地方債	0	前年度決算額		
その他	11,609	5,524		
一般財源	0			
計	11,609			

経078	項目名	鳥取砂丘新発見伝事業負担金		
主要な施策	各種団体補助金負担金	ページ	37	所 属 名
年度	H24	経済観光部 鳥取砂丘・ジオパーク推進課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】 鳥取砂丘・ジオパーク推進課 0857-20-3036			
款 商工費	【9次総の施策体系】 5201			
項 商工費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P142（経072）			
目 観光費	【事業の目的・概要】 鳥取砂丘における民間主導のイベント開催を支援することにより、県・市及び民間が一体となって砂丘観光の活性化を図る。			
(単位:千円)	【事業の成果】 鳥取砂丘の自然を生かしたイベントを公募し、鳥取砂丘イリュージョンを含む10事業を選定・支援、実施された。			
当初予算額	15,000	【今後の課題・方向性】 鳥取砂丘におけるより多くの魅力的なイベントが支援できるよう、幅広くその制度などを情報発信していく必要がある。		
補正予算額	△2,300			
予算流・充用額	0			
最終予算額	12,700			
本年度決算額	12,099			
区分	決算額			
財源内訳				
国・県支出金	0			
地方債	0			
その他	0			
一般財源	12,099			
計	12,099			
前年度決算額	14,611	評価結果		
		鳥取砂丘の活性化につながる効果的なイベントを支援していくために事業を継続していく必要があるが、いずれの事業に対して支援するべきかについては、「鳥取砂丘新発見伝実行委員会」を通じて検討していく必要がある。また、より多くの魅力的なイベントが支援できるよう、幅広くその制度等を情報発信していく必要がある。		

経079	項目名	砂の美術館管理運営費	
主要な施策	観光施設整備事業費	ページ	37
年度	H24	所 属 名	
		経済観光部 鳥取砂丘・ジオパーク推進課	
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】 鳥取砂丘・ジオパーク推進課 0857-20-3036		
款 商工費	【9次総の施策体系】 5201		
項 商工費	【予算上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算P144（経076）		
目 観光費	【事業の概要】 観光情報発信施設として整備した鳥取砂丘情報館サンドパルとっとりは平成17年度4月にオープンし砂丘を訪れる観光客に様々な観光情報を提供している。平成17年10月から指定管理者制度へ移行し平成20年度からは「砂の美術館」管理運営業務も行っている。		
(単位:千円)	【事業の成果】 指定管理者制度の導入により管理経費の縮減と民間知識活用によるサービスの向上を図り地域産業の発展と観光の振興に寄与している。		
当初予算額	73,890	【今後の課題・方向性】 指定管理者制度の導入により民間知識の活用によるサービスの向上を進めているが、砂の美術館の管理運営業務を進めていく観点からもより一層の顧客満足度の向上のための施策が求められる。	
補正予算額	5,200		
予算流・充用額	0		
最終予算額	79,090	【今後の課題・方向性】 指定管理者制度の導入により民間知識の活用によるサービスの向上を進めているが、砂の美術館の管理運営業務を進めていく観点からもより一層の顧客満足度の向上のための施策が求められる。	
本年度決算額	77,904	【今後の課題・方向性】 指定管理者制度の導入により民間知識の活用によるサービスの向上を進めているが、砂の美術館の管理運営業務を進めていく観点からもより一層の顧客満足度の向上のための施策が求められる。	
区分	決算額	【今後の課題・方向性】 指定管理者制度の導入により民間知識の活用によるサービスの向上を進めているが、砂の美術館の管理運営業務を進めていく観点からもより一層の顧客満足度の向上のための施策が求められる。	
財源内訳		【今後の課題・方向性】 指定管理者制度の導入により民間知識の活用によるサービスの向上を進めているが、砂の美術館の管理運営業務を進めていく観点からもより一層の顧客満足度の向上のための施策が求められる。	
国・県支出金	0	【今後の課題・方向性】 指定管理者制度の導入により民間知識の活用によるサービスの向上を進めているが、砂の美術館の管理運営業務を進めていく観点からもより一層の顧客満足度の向上のための施策が求められる。	
地方債	0	【今後の課題・方向性】 指定管理者制度の導入により民間知識の活用によるサービスの向上を進めているが、砂の美術館の管理運営業務を進めていく観点からもより一層の顧客満足度の向上のための施策が求められる。	
その他	77,904	【今後の課題・方向性】 指定管理者制度の導入により民間知識の活用によるサービスの向上を進めているが、砂の美術館の管理運営業務を進めていく観点からもより一層の顧客満足度の向上のための施策が求められる。	
一般財源	0	【今後の課題・方向性】 指定管理者制度の導入により民間知識の活用によるサービスの向上を進めているが、砂の美術館の管理運営業務を進めていく観点からもより一層の顧客満足度の向上のための施策が求められる。	
計	77,904	【今後の課題・方向性】 指定管理者制度の導入により民間知識の活用によるサービスの向上を進めているが、砂の美術館の管理運営業務を進めていく観点からもより一層の顧客満足度の向上のための施策が求められる。	
(参考)	評価結果		
前年度決算額	16,662	鳥取砂丘情報館と砂の美術館はいずれも本市を代表する観光地「鳥取砂丘」にある観光施設であり、その注目度は非常に高いといえる。指定管理者制度の導入により管理コストの縮減はもちろん、サービスの提供による顧客満足度の更なる向上などにより一層の充実が求められる。	

経080	項目名	砂丘管理事業費	
主要な施策	鳥取砂丘管理事業費	ページ	37
年度	H24	所 属 名	
		経済観光部 鳥取砂丘・ジオパーク推進課	
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】 鳥取砂丘・ジオパーク推進課 0857-20-3036		
款 商工費	【9次総の施策体系】 5201		
項 商工費	【予算上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P146（経079）、6月補正予算・P11（経007） 9月補正予算・P23（経014）		
目 観光費	【事業の概要】 1. 砂丘周辺の景観保全、清掃、ゴミ処理等 2. 市営砂丘駐車場等、砂丘周辺施設の負担金、借上、維持修繕 3. 鳥取砂丘周辺の渋滞対策		
(単位:千円)	【事業の成果】 1. 鳥取砂丘再生会議保全部会を通じて砂丘の除草や枯木伐採など、砂丘の全体的な景観保全を行った。 2. ゴールデンウィークにおいて砂丘周辺道路渋滞対策のため交通整理員の配置、誘導看板の設置などを行い、臨時駐車場等への車を誘導することにより、渋滞緩和を図った。 (4/28-5/6入込:約21万人)		
当初予算額	25,476	【今後の課題・方向性】 1. 砂丘周辺の景観保全については、砂丘の景観に与える影響を最小限に止めながら、有識者等の意見をよく聴き取り、慎重に事業を継続していくことが必要である。 2. 鳥取自動車道全線開通などにより、鳥取砂丘への観光入込客数はますます増加するものと考えられる。特に入込が集中するゴールデンウィークの渋滞対策は、臨時駐車場の増設検討を含め道路・交通行政関係機関・バス事業者・地元業者と連携を密に図りながら実施する必要がある。	
補正予算額	6,673	【今後の課題・方向性】 1. 砂丘周辺の景観保全については、砂丘の景観に与える影響を最小限に止めながら、有識者等の意見をよく聴き取り、慎重に事業を継続していくことが必要である。 2. 鳥取自動車道全線開通などにより、鳥取砂丘への観光入込客数はますます増加するものと考えられる。特に入込が集中するゴールデンウィークの渋滞対策は、臨時駐車場の増設検討を含め道路・交通行政関係機関・バス事業者・地元業者と連携を密に図りながら実施する必要がある。	
予算流・充用額	△ 1,085	【今後の課題・方向性】 1. 砂丘周辺の景観保全については、砂丘の景観に与える影響を最小限に止めながら、有識者等の意見をよく聴き取り、慎重に事業を継続していくことが必要である。 2. 鳥取自動車道全線開通などにより、鳥取砂丘への観光入込客数はますます増加するものと考えられる。特に入込が集中するゴールデンウィークの渋滞対策は、臨時駐車場の増設検討を含め道路・交通行政関係機関・バス事業者・地元業者と連携を密に図りながら実施する必要がある。	
最終予算額	31,064	【今後の課題・方向性】 1. 砂丘周辺の景観保全については、砂丘の景観に与える影響を最小限に止めながら、有識者等の意見をよく聴き取り、慎重に事業を継続していくことが必要である。 2. 鳥取自動車道全線開通などにより、鳥取砂丘への観光入込客数はますます増加するものと考えられる。特に入込が集中するゴールデンウィークの渋滞対策は、臨時駐車場の増設検討を含め道路・交通行政関係機関・バス事業者・地元業者と連携を密に図りながら実施する必要がある。	
本年度決算額	28,570	【今後の課題・方向性】 1. 砂丘周辺の景観保全については、砂丘の景観に与える影響を最小限に止めながら、有識者等の意見をよく聴き取り、慎重に事業を継続していくことが必要である。 2. 鳥取自動車道全線開通などにより、鳥取砂丘への観光入込客数はますます増加するものと考えられる。特に入込が集中するゴールデンウィークの渋滞対策は、臨時駐車場の増設検討を含め道路・交通行政関係機関・バス事業者・地元業者と連携を密に図りながら実施する必要がある。	
区分	決算額	【今後の課題・方向性】 1. 砂丘周辺の景観保全については、砂丘の景観に与える影響を最小限に止めながら、有識者等の意見をよく聴き取り、慎重に事業を継続していくことが必要である。 2. 鳥取自動車道全線開通などにより、鳥取砂丘への観光入込客数はますます増加するものと考えられる。特に入込が集中するゴールデンウィークの渋滞対策は、臨時駐車場の増設検討を含め道路・交通行政関係機関・バス事業者・地元業者と連携を密に図りながら実施する必要がある。	
財源内訳		【今後の課題・方向性】 1. 砂丘周辺の景観保全については、砂丘の景観に与える影響を最小限に止めながら、有識者等の意見をよく聴き取り、慎重に事業を継続していくことが必要である。 2. 鳥取自動車道全線開通などにより、鳥取砂丘への観光入込客数はますます増加するものと考えられる。特に入込が集中するゴールデンウィークの渋滞対策は、臨時駐車場の増設検討を含め道路・交通行政関係機関・バス事業者・地元業者と連携を密に図りながら実施する必要がある。	
国・県支出金	234	【今後の課題・方向性】 1. 砂丘周辺の景観保全については、砂丘の景観に与える影響を最小限に止めながら、有識者等の意見をよく聴き取り、慎重に事業を継続していくことが必要である。 2. 鳥取自動車道全線開通などにより、鳥取砂丘への観光入込客数はますます増加するものと考えられる。特に入込が集中するゴールデンウィークの渋滞対策は、臨時駐車場の増設検討を含め道路・交通行政関係機関・バス事業者・地元業者と連携を密に図りながら実施する必要がある。	
地方債	4,700	【今後の課題・方向性】 1. 砂丘周辺の景観保全については、砂丘の景観に与える影響を最小限に止めながら、有識者等の意見をよく聴き取り、慎重に事業を継続していくことが必要である。 2. 鳥取自動車道全線開通などにより、鳥取砂丘への観光入込客数はますます増加するものと考えられる。特に入込が集中するゴールデンウィークの渋滞対策は、臨時駐車場の増設検討を含め道路・交通行政関係機関・バス事業者・地元業者と連携を密に図りながら実施する必要がある。	
その他	23,636	【今後の課題・方向性】 1. 砂丘周辺の景観保全については、砂丘の景観に与える影響を最小限に止めながら、有識者等の意見をよく聴き取り、慎重に事業を継続していくことが必要である。 2. 鳥取自動車道全線開通などにより、鳥取砂丘への観光入込客数はますます増加するものと考えられる。特に入込が集中するゴールデンウィークの渋滞対策は、臨時駐車場の増設検討を含め道路・交通行政関係機関・バス事業者・地元業者と連携を密に図りながら実施する必要がある。	
一般財源	0	【今後の課題・方向性】 1. 砂丘周辺の景観保全については、砂丘の景観に与える影響を最小限に止めながら、有識者等の意見をよく聴き取り、慎重に事業を継続していくことが必要である。 2. 鳥取自動車道全線開通などにより、鳥取砂丘への観光入込客数はますます増加するものと考えられる。特に入込が集中するゴールデンウィークの渋滞対策は、臨時駐車場の増設検討を含め道路・交通行政関係機関・バス事業者・地元業者と連携を密に図りながら実施する必要がある。	
計	28,570	【今後の課題・方向性】 1. 砂丘周辺の景観保全については、砂丘の景観に与える影響を最小限に止めながら、有識者等の意見をよく聴き取り、慎重に事業を継続していくことが必要である。 2. 鳥取自動車道全線開通などにより、鳥取砂丘への観光入込客数はますます増加するものと考えられる。特に入込が集中するゴールデンウィークの渋滞対策は、臨時駐車場の増設検討を含め道路・交通行政関係機関・バス事業者・地元業者と連携を密に図りながら実施する必要がある。	
(参考)	評価結果		
前年度決算額	17,897	今後も、良好な砂丘の景観を保全し、鳥取砂丘の受入環境を整備することにより、快適な観光ができる状態にするために事業を継続していく必要がある。	

経081	項目名	砂の美術館駐車場整備基本調査事業費		
主要な施策	鳥取砂丘管理事業費	ページ	37	所 属 名
年度	H24	経済観光部 鳥取砂丘・ジオパーク推進課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】 鳥取砂丘・ジオパーク推進課 0857-20-3036			
款 商工費	【9次総の施策体系】 5201			
項 商工費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 12月補正予算P19（経007）			
目 観光費	【事業の概要】 鳥取砂丘管理地内の砂丘センター入口に広がる林野（約11,000㎡）の現地用地測量および用地権利関係調査ならびに測量結果に基づく駐車場基本設計を行う。			
(単位:千円)	【事業の成果】 3案の造成計画案で検討を重ね、最終案を整理した。 (駐車台数:230台、用地面積:9,000㎡)			
当初予算額	0	【今後の課題・方向性】 平成26年4月供用開始に向けて整備する。		
補正予算額	4,620			
予算流・充用額	0			
最終予算額	4,620	【今後の課題・方向性】 平成26年4月供用開始に向けて整備する。		
本年度決算額	4,599	【今後の課題・方向性】 平成26年4月供用開始に向けて整備する。		
区分	決算額	【今後の課題・方向性】 平成26年4月供用開始に向けて整備する。		
財源内訳	国・県支出金	0	【今後の課題・方向性】 平成26年4月供用開始に向けて整備する。	
	地方債	0	【今後の課題・方向性】 平成26年4月供用開始に向けて整備する。	
	その他	4,599	【今後の課題・方向性】 平成26年4月供用開始に向けて整備する。	
	一般財源	0	【今後の課題・方向性】 平成26年4月供用開始に向けて整備する。	
	計	4,599	【今後の課題・方向性】 平成26年4月供用開始に向けて整備する。	
(参考)	前年度決算額	0	【今後の課題・方向性】 平成26年4月供用開始に向けて整備する。	
	評価結果	基本調査業務は平成25年3月に完了し、平成25年度には「砂の美術館駐車場整備事業」を平成26年4月の供用開始に向けて実施する。		

経082	項目名	山陰海岸ジオパーク事業費		
主要な施策	山陰海岸ジオパーク事業費	ページ	37	所 属 名
年度	H24	経済観光部 鳥取砂丘・ジオパーク推進課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】 鳥取砂丘・ジオパーク推進課 0857-20-3036			
款 商工費	【9次総の施策体系】 5201			
項 商工費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P147（経082）			
目 観光費	【事業の概要】 平成19年7月に山陰海岸ジオパーク推進協議会を設立し、山陰海岸の世界ジオパークネットワーク（GNN）加盟に向けた取組みを行い、平成22年10月4日（日本時間）に世界ジオパークネットワーク（GGN）に加盟認定された。 本事業は、鳥取砂丘や湖山池などの優れた地形・地質を活かし、保護・保全、教育、産業振興、観光振興等に取り組むことで、地域の活性化を目指す。			
(単位:千円)	【事業の成果】 主な成果として、保護・保全に関する取り組みでは、鳥取砂丘除草ボランティア、一斉清掃等住民活動への支援を行った。教育に関する取り組みでは、全市立小学校を対象とした校外学習支援事業により貸切バス代の支援、小学生用パンフレットの配布を行った。観光振興・産業振興に関する取り組みでは、観光産業育成支援事業補助金により、新商品開発、ジオガイドの立ち上げ等を支援した。			
当初予算額	24,455	【今後の課題・方向性】 ジオパークの活動を通して地域の活性化を目指すため、「保護・保全に関する取り組み」、「教育に関する取り組み」、「観光振興・産業振興に関する取り組み」等、今後継続的に行う。また、平成25年度はJGN及びJGCによる再審査、平成26年度はGGNによる再審査に伴い、本市エリア拡大に向けた取り組みを行う。		
補正予算額	△193	【今後の課題・方向性】 ジオパークの活動を通して地域の活性化を目指すため、「保護・保全に関する取り組み」、「教育に関する取り組み」、「観光振興・産業振興に関する取り組み」等、今後継続的に行う。また、平成25年度はJGN及びJGCによる再審査、平成26年度はGGNによる再審査に伴い、本市エリア拡大に向けた取り組みを行う。		
予算流・充用額	△106	【今後の課題・方向性】 ジオパークの活動を通して地域の活性化を目指すため、「保護・保全に関する取り組み」、「教育に関する取り組み」、「観光振興・産業振興に関する取り組み」等、今後継続的に行う。また、平成25年度はJGN及びJGCによる再審査、平成26年度はGGNによる再審査に伴い、本市エリア拡大に向けた取り組みを行う。		
最終予算額	24,156	【今後の課題・方向性】 ジオパークの活動を通して地域の活性化を目指すため、「保護・保全に関する取り組み」、「教育に関する取り組み」、「観光振興・産業振興に関する取り組み」等、今後継続的に行う。また、平成25年度はJGN及びJGCによる再審査、平成26年度はGGNによる再審査に伴い、本市エリア拡大に向けた取り組みを行う。		
本年度決算額	22,771	【今後の課題・方向性】 ジオパークの活動を通して地域の活性化を目指すため、「保護・保全に関する取り組み」、「教育に関する取り組み」、「観光振興・産業振興に関する取り組み」等、今後継続的に行う。また、平成25年度はJGN及びJGCによる再審査、平成26年度はGGNによる再審査に伴い、本市エリア拡大に向けた取り組みを行う。		
区分	決算額	【今後の課題・方向性】 ジオパークの活動を通して地域の活性化を目指すため、「保護・保全に関する取り組み」、「教育に関する取り組み」、「観光振興・産業振興に関する取り組み」等、今後継続的に行う。また、平成25年度はJGN及びJGCによる再審査、平成26年度はGGNによる再審査に伴い、本市エリア拡大に向けた取り組みを行う。		
財源内訳	国・県支出金	945	【今後の課題・方向性】 ジオパークの活動を通して地域の活性化を目指すため、「保護・保全に関する取り組み」、「教育に関する取り組み」、「観光振興・産業振興に関する取り組み」等、今後継続的に行う。また、平成25年度はJGN及びJGCによる再審査、平成26年度はGGNによる再審査に伴い、本市エリア拡大に向けた取り組みを行う。	
	地方債	0	【今後の課題・方向性】 ジオパークの活動を通して地域の活性化を目指すため、「保護・保全に関する取り組み」、「教育に関する取り組み」、「観光振興・産業振興に関する取り組み」等、今後継続的に行う。また、平成25年度はJGN及びJGCによる再審査、平成26年度はGGNによる再審査に伴い、本市エリア拡大に向けた取り組みを行う。	
	その他	6,929	【今後の課題・方向性】 ジオパークの活動を通して地域の活性化を目指すため、「保護・保全に関する取り組み」、「教育に関する取り組み」、「観光振興・産業振興に関する取り組み」等、今後継続的に行う。また、平成25年度はJGN及びJGCによる再審査、平成26年度はGGNによる再審査に伴い、本市エリア拡大に向けた取り組みを行う。	
	一般財源	14,897	【今後の課題・方向性】 ジオパークの活動を通して地域の活性化を目指すため、「保護・保全に関する取り組み」、「教育に関する取り組み」、「観光振興・産業振興に関する取り組み」等、今後継続的に行う。また、平成25年度はJGN及びJGCによる再審査、平成26年度はGGNによる再審査に伴い、本市エリア拡大に向けた取り組みを行う。	
	計	22,771	【今後の課題・方向性】 ジオパークの活動を通して地域の活性化を目指すため、「保護・保全に関する取り組み」、「教育に関する取り組み」、「観光振興・産業振興に関する取り組み」等、今後継続的に行う。また、平成25年度はJGN及びJGCによる再審査、平成26年度はGGNによる再審査に伴い、本市エリア拡大に向けた取り組みを行う。	
(参考)	前年度決算額	14,101	【今後の課題・方向性】 ジオパークの活動を通して地域の活性化を目指すため、「保護・保全に関する取り組み」、「教育に関する取り組み」、「観光振興・産業振興に関する取り組み」等、今後継続的に行う。また、平成25年度から、本格的に本市エリア拡大に向けた取り組みに着手する。	
	評価結果	世界ジオパークネットワークの加盟を継続していくため必要な事業を拡充し継続していく必要がある。また、平成25年度から、本格的に本市エリア拡大に向けた取り組みに着手する。		